

取扱説明書

電子レジスタ

形名 **XE-A147**

ご購入後、最初に「クイックスタートガイド」をお読みください。

はじめてご使用になるときは、この説明書の「消費税の設定について」(P.23ページ)をお読みのうえ、消費税の税率を設定してください。



もくじ	ページ
安全にお使いいただくために	1
お使いになる前に	
各部の名前とはたらき	1
ピーという警告音が鳴ったときは(エラー処理)	3
[POINT/]日付と時刻を設定する	4
売上登録をするとき	
基本的な使いかた	5
便利な使いかた	7
訂正のしかた	10
売上の点検と精算をするとき	
売上の点検・精算	12
営業記録の確認(電子ジャーナル)	14
各種設定をするとき	
お店に合わせた設定	15
消費税の設定について	23
設定内容の確認	26
知っておいていただきたいこと	
SDメモリーカードでできること	27
ロール紙の補充と	
プリンタの取り扱いについて	30
引出し(ドロア)の取扱いについて	33
困ったときは	34
付属品を破損/紛失されたときは	34
乾電池の交換	34
ご相談窓口のご案内	34
故障かなと思ったら	35
語句コード表	36
グラフィック店名ロゴ作成ご依頼について	37
アフターサービスについて/仕様	39

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
 この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
 この取扱説明書は、クイックスタートガイドとともに、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

※本製品は、2種類の消費税(消費税1と消費税2)を計算することができます。
 本書では特記のある箇所を除き、消費税1を例として説明します。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告



100V以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。
火災、感電の恐れがあります。



ACアダプターを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、上に重いものをのせたり、コードを引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
ACアダプターをいため、火災、感電の原因になります。



濡れた手でACアダプターに触れないでください。
感電の原因になります。



発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店またはレジスタご相談窓口にご連絡ください。
異常状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。



異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、本体のACアダプターをコンセントから抜いて販売店またはレジスタご相談窓口にご連絡ください。
異物が機器の内部に入ったまま使用すると火災、感電の原因になります。



この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体のACアダプターをコンセントから抜いて販売店またはレジスタご相談窓口にご連絡ください。
キャビネットが破損したまま使用すると火災、感電の原因になります。



お客様による分解や修理・改造はしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。また、火災の原因になります。

注意



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



この機器の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



濡れた手でこの機器を使用したり、濡れた物でこの機器をふかないでください。
中に水が入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。また、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。




この機器の上に重いものを置かないでください。
置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。




本機の温度が高くなる部分に長時間触れないでください。
低温やけどの原因となることがあります。


⚠ 注意

- 


ACアダプターは必ずこの製品に付属のものを使用してください。
火災、感電の原因となることがあります。

- 


この製品に付属しているACアダプターは、この製品以外に使用しないでください。
火災、感電の原因となることがあります。

- 


ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。(必ずACアダプター本体を持って抜いてください)
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- 


この機器を移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜いておこなってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- 


連休等で長期間、この機器を使用しない時は安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

- 


この機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 


電池をこの機器に挿入する場合、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意して入れてください。
間違えますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 


引出し(ドア)が開いている時に、引出し(ドア)に寄りかからないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

- 

引出し(ドア)が開く際、子供の顔等に当たらないよう、ご注意ください。
けがの原因となることがあります。

- 


機能切りかえ鍵を子供の手の届くところに放置しないでください。
鍵を飲み込む恐れがあります。

- 

SDメモリーカードを取り出すときは、カードが出てきてもすぐに指を離さないでください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。
急に指を離すと、SDメモリーカードが飛び出し、けがの原因となることがあります。

- 

この製品にオプションバッテリーを取り付けて使用する場合は、必ず指定の製品(XE-A1BT)を使用してください。
火災、感電の原因となることがあります。
ご使用の際、オプションバッテリーの取扱説明書をよくお読みください。

- 

この製品のオプションバッテリーは、この製品以外に使用しないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
ご使用の際、オプションバッテリーの取扱説明書をよくお読みください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することはお断りします。
- 本書の内容および本製品は、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
- 本書および本製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店、またはご相談窓口までご連絡ください。
- 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- お客様または第三者が本製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



SDHCロゴは商標です。

お願い

ご使用前のご注意

- この製品には単3形アルカリ乾電池3本(市販品)が必要です。あらかじめ用意してください。
- 最初にこの製品を初期化してください。このとき、乾電池は入れないでください。**
この製品をご購入後、最初に初期化をおこなう必要があります。このとき、電池が入っているなどして、初期化が正しくおこなわれないとレジスタが正常に動作しない場合があります。初期化操作については、クイックスタートガイドの「最初にお読みください」をごらんください。
- 初期化後は、必ず電池を入れてご使用ください。電池が入っていないか、電池が消耗してしまった状態のときに、ACアダプターが抜けたり停電が起こったりすると、登録や設定の内容が消えてしまいます。

ロール紙(感熱紙)の取り扱いについて

ロール紙(感熱紙)の取扱いについては、30ページをよくお読みいただき、**注意事項を必ずお守りください。**

設置上のお願い

- この製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターは、抜き差ししやすい場所に差し込んでください。
- この製品を、直射日光があたるところ、湿度が異常に高いところ、水を使うところには設置しないでください。変色や変形、故障の原因になります。

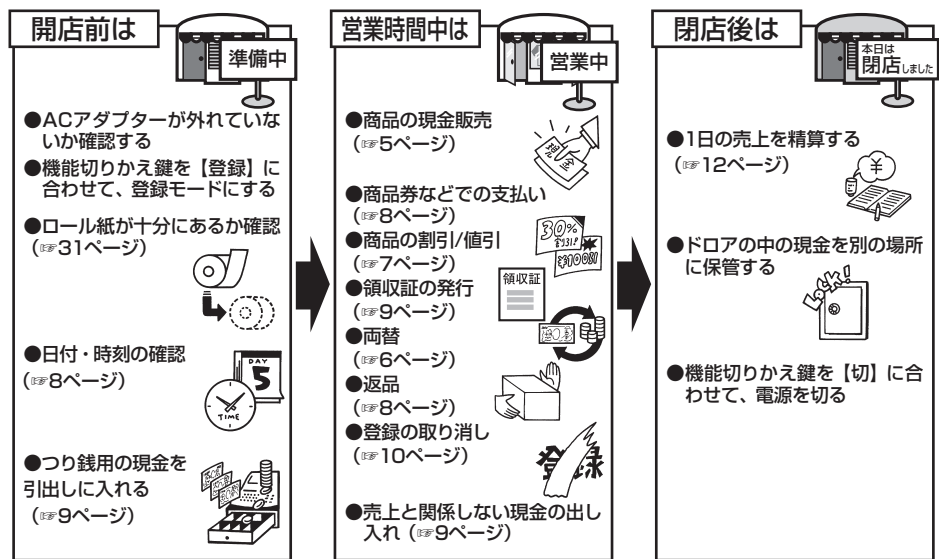
お手入れの方法

お手入れには乾いた柔らかい布をご使用ください。揮発性の液体(ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。キャビネットの変色または変質の原因になります。

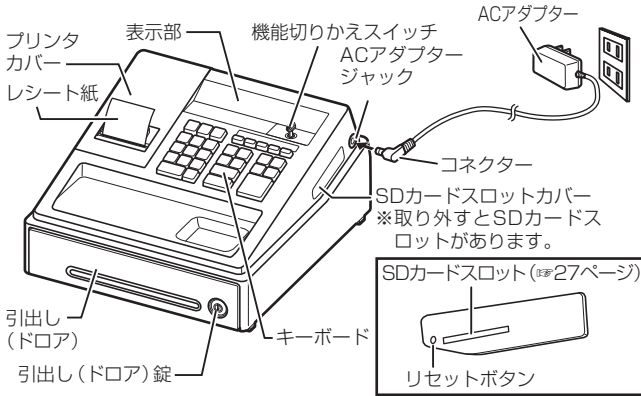
プリンタについてのご注意

- この製品をご使用になる際には、必ずロール紙をセットしてお使いください。セットせずにご使用になりますと、プリンタ故障の原因となります。
- ご使用の際、プリンタアームはしっかり閉じてください。正しく閉じられてないと正常に印字されません。また、誤印字の原因となります。
- プリンタ作動中または作動終了直後は、プリンタヘッドおよびその周辺とモーター表面は高温になっていますので、けっして手を触れないでください。
- プリンタアームの操作(開閉)はプリンタが停止しているときにおこなってください。プリンタ作動中に操作すると、プリンタ故障の原因となります。
- プリンタアームを閉じた状態で、ロール紙を引っ張らないでください。
プリンタヘッドが損傷する原因となります。
- 次のような場所でのご使用や保管は避けてください。
 - ・湿気やほこりの多い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・鉄など金属の粉末がある場所

POINT! レジスタの一日の流れ



各部の名前とはたらき

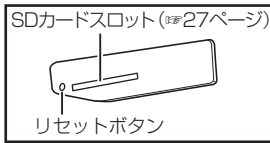


コネクタを、ACアダプタージャックに差し込み、ACアダプターを電源コンセントに接続します。

ご購入の時期によっては、別の形状のACアダプターが付属していることがあります。
(別の形状のACアダプターでも正しくご使用いただけます。)

オプションバッテリー (別売品: XE-A1BT) を使用すると、ACアダプターなしで動作することができます。
(※39ページ「別売品について」)

ご注意 リセットボタンを押すとデータが消去されます。指示が無限り押さないでください。



●表示部

表示部には金額が表示されます(最大8桁)。金額がマイナスのときは金額の前に“－”が表示されます。その他、次の内容が表示されます。



部門キーを続けて押し、同じ商品を複数登録したときの個数が表示されます。
(“2”から点灯し、10個以上のときは1の位のみ表示)

部門番号

部門番号の他に、本機の状態が次のように表示されます。

F	合計金額 (登録終了)	E	エラー ※エラーが発生したときに表示されます。(※3ページ)
L	つり銭あり/返品	P	設定のとき
Q	小計額、預り不足	L	乾電池の消耗
L	乾電池切れ	(L)	バッテリー切れ ※オプションバッテリー使用時のみ

スリープモードのときは：

無操作状態が一定時間以上続くとスリープモードに入ります。このとき、表示部には何も表示されません。機能切りかえスイッチを別の位置に回す、または【クリア】などの任意のキー(紙送りキーを除く)を押すと、スリープモードは解除されます。なお、スリープモードを解除するために入力した最初のキー(1つ)は無効になります。

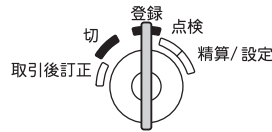
ロール紙がないときは：



プリンタにロール紙がセットされていないか、紙切れになったときに表示されます。ロール紙を取りつけてから【クリア】を押してください。

●機能切りかえスイッチ

機能切りかえ鍵を差し込んで回し、スイッチを切りかえます。
鍵は【切】か【登録】で抜き差しできます。



【登録】：売上の登録

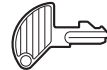
【切】：電源を切る(記憶内容は保持されます。)

【取引後訂正】：取引後訂正

【点検】：売上の点検

【精算/設定】：売上の精算/各種の設定

●機能切りかえ鍵



引出し(ドリア)を開けるときにも使用します。

●キーの名前とはたらき

↑ 紙送り	⊗	クリア	強制解除	訂正	後リシート	レシート発行/停止	領収証
7	8	9	入金 %	支払	信用	券売	
4	5	6	部門7 部門3	部門8 部門4	部門シフト	#/時刻小計	
1	2	3	部門6	部門2	部門6		
0	00		部門1	部門5		現/預/替	

MEMO 取り付けられているキーキャップは、付けたままご使用ください。文字の摩耗を防ぎます。

各部の名前とはたらき



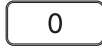
紙送りキー
 □ール紙の紙送りに使います。



乗算キー
 同じ商品を2個以上売るときに使います。



クリアキー
 数字を押しまちがえたときの消去やエラー状態の解除に使います。



置数キー
 単価や数量を打ち込むときに使います。
 00を押すと、"0"を一度に2桁打ち込めます。



強制解除キー
 07を押してもエラー状態が解除できないときに使います。



訂正キー
 誤った登録を取り消すときに使います。



後レシートキー
 レシート発行を停止している状態で、取引が終了した分のレシート発行させたいときに使います。



レシート発行/停止キー
 商品登録後に、レシートを発行しないときに使います。



領収証キー
 取引終了後に押すと領収証を発行します。



パーセント/入金キー
 個々の売上商品や小計金額に対して、割引または割増登録をおこなうときに使います。商品の売上とは別の入金があったときに使います。



値引/支払いキー
 個々の売上商品や小計金額に対して、値引登録をおこなうときに使います。商品の売上とは別の支払いがあったときに使います。



部門キー
 個々の商品の売上を登録するときに使います。商品によって押す部門キーを使い分け、部門別の商品管理ができます。現金単品売りをするとときに使います(単品売り設定部門のみ)。



信用キー
 つけ払いや小切手などの信用売りで支払いがあったときに使います。



券売キー
 商品券などで支払いがあったときに使います。



部門シフトキー
 部門キーで上の部門番号(部門5~部門8)を登録するときに使います。



番号印字/時刻表示/小計キー
 お客様の顧客番号や伝票番号などを印字するときに使います。単独で押すと、時刻や日付を表示します。小計を算出し、表示するときに使います。



現金/預り/両替キー
 現金売り、現金預り(つり銭計算)、両替のときに使います。

POINT! 操作練習をするときは(練習データクリア)

お買い上げ後、実際の営業でレジスタを使い始める前は、登録操作などの練習ができます。練習で登録したデータは、「練習データクリア」の操作をおこなって消去してください。この操作をおこなうとそれまでに登録した売上データがすべてゼロになります。練習データを消去したいときのみおこなってください。

ご注意 この操作は、実際の登録を開始した後は絶対におこなわないでください。

機能切りかえスイッチ



機能切りかえ鍵で、機能切りかえスイッチの位置を【精算/設定】にします。



練習データクリア時の印字

* 設定 *
 #59 練習データクリア
 全売上げデータをクリアしました。

ピーという警告音が鳴ったときは（エラー処理）

エラーが発生すると、長い警告音（約2秒間）が鳴り、表示部にエラーコードを表示します。このとき[**7**]でエラー状態を解除し、下記のエラーコード表の処理方法にしたがってください。また、誤ったキー操作をしたときは、短い警告音が鳴ります。このときキー入力は受け付けていませんので、引き続き正しいキー操作をおこなってください。

●エラーコード表

エラーコード	エラー内容	処理方法
E01	登録が誤っているか、禁止されている登録です。	正しい登録をしなおしてください。
E02	誤ったキー操作がおこなわれました。	正しいキー操作をしなおしてください。
E04	小計キー操作が強制されています。	[明]を押した後、操作を続けてください。
E05	預り操作が強制されています。	預り金額を打ち込んでください。
E12	設定された制限をオーバーしています。	設定された制限内で登録してください。くわしい内容については、次ページの「オーバーフローエラーについて」を参照してください。
E13	単価の登録方法が“プリセットのみ”になっています。	あらかじめ設定されている単価を使って登録してください。
E14	単価の登録方法が“オープンのみ”になっています。	単価を打ち込んで登録してください。
E15	預り不足後の丁度締め操作はできません。	金額の預り操作をしてください。
E67	登録件数が30件を超えました。	全項目取消はできません。[取] [信用] [券売]などの取引キーを押していったん取引を終了してください。エラー前の金額で取引が終了します。
E80	不正なバッテリーが取り付けられています。	本製品指定のオプションバッテリーを使用してください。
E93	ロール紙がなくなったか、紙詰まり、停電等により領収証が正しく印字されていません。	再度、[領]を押して発行しなおしてください。
E-E	電子ジャーナルのメモリーに空き容量がありません。	先に電子ジャーナルを精算してください。 (14 ページ)
E-Sd-01	SDメモリーカードが入っていません。	SDカードスロットにSDメモリーカードを入れてください。または正しく挿入しなおしてください。
E-Sd-02	SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチが“書き込み不可”になっています。	ライトプロテクトスイッチを“書き込み可”にしてから再度、操作してください。
E-Sd-03	SDメモリーカードのメモリーに空き容量がありません。	新しいSDメモリーカードをフォーマットしてご使用になるか、パソコン側でカード内の不要データを削除してから再度、操作してください。
E-Sd-09	SDメモリーカードに対象となるファイルデータおよびフォルダがありません。	操作番号の入力間違いがないか確認してください。または対象となるデータを書き込みしたSDメモリーカードを入れてください。
E-Sd-10	回数制限を超えています。	売上データと電子ジャーナルデータの書き込み回数が制限（1日あたり9回）を超えました。
E-Sd-99	その他のSDカードエラー	最初から操作をやりなおしてください。
E-Sd.OFF	SDメモリーカードへのアクセス中に停電しました。	停電復帰後、操作をやりなおしてください。

●オーバーフローエラーについて

レジスタの登録範囲を超えたときには、オーバーフローエラーとなり、以後の登録ができなくなります。エラー状態を解除し、次の処理方法にしたがってください。

置数入力が32桁を超えたとき

エラー解除後、正しく打ち込みなおしてください。

1取引内の外税抜きの商品合計額が7桁を超えたとき

エラー解除後、**【現】****【用】****【券】**などの取引キーを押していったん取引を終了してください。エラー前の金額で取引が終了します。

預り、入金、支払い金額の入力が8桁を超えたとき

エラー解除後、分割して登録しなおしてください。

乗算登録時、単価と個数の積が7桁を超えたとき

エラー解除後、分割して登録しなおしてください。

●**【カ】**を押してもエラー状態が解除できないときは

【カ】を押してもエラー状態が解除できないとき、エラーで操作ができないとき、どうしてよいか分からなくなったときは、次のように操作してください。

この操作によってエラー状態を解除したときは、営業記録紙(電子ジャーナル)に「…解除機能により中止…」が印字(記録)されます。

取引を中止し、はじめから登録しなおしたいとき

【強制解除】を押したあと、もう一度**【強制解除】**を押します。

直前に登録した内容がすべて取り消されます(全項目取消)。

ただし、預り途中でエラーが発生して、この操作をした場合は、「現金丁度締め」として処理されますので、ご注意ください。

ただし、番号印字をしただけで、商品登録をしていないときは「両替」として処理されます。

エラーを解除して現金丁度締めとして終了したいとき

【強制解除】を押したあと、**【現】**を押します。

現金丁度締めとして処理されます。

ただし、番号印字をしただけで、商品登録をしていないときは「両替」として処理されます。

POINT! 日付と時刻を設定する

機能切り替えスイッチを【精算/設定】に合わせて、つぎの操作をおこなうことにより日付と時刻が設定できます。

例 日付を2021年3月25日、時刻を15時(午後3時)5分に合わせるとき



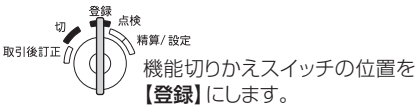
2 0 2 1 0 3 2 5 #/時刻
小計
2021年(西暦4桁) 3月(2桁) 25日(2桁)
1 5 0 5 #/時刻
小計
15時(午後3時) 05分(2桁)
(2桁:24時間制)

* 設定 *
2021年03月25日
* 設定 *
15:05

MEMO

- **【#】****【時刻小計】**を押すと設定内容を印字します。(レシートの印字で確認します。)
- 数字を打ちまちがえたときは**【カ】**を押して取り消し、正しい数字を入れなおします。

基本的な使いかた



商品の売上登録をはじめ

登録とは…売上商品の金額や部門、預り金額などを入れ、レジスタに記憶させることです。売上商品の金額や部門などの登録は、機能切りかえスイッチを【登録】の位置に合わせておこないます。

お買い上げとつり銭の計算

例 3,800円（部門1、消費税内税対象）と、1,200円（部門8、消費税非課税）の商品を売り、10,000円を預かったとき（※あらかじめ部門8を非課税と設定した場合の例です）

機能切りかえスイッチを【登録】に合わせる

商品の
単価と部門を
登録する

3 8 00 部門5
3,800円 部門1

次の商品の
単価と部門を
登録する

1 2 00 部門1
1,200円 部門8

お買い上げ合
計を表示する

#/時刻
/小計

0 5,000

預り金額を
入れる

1 00 00 10,000円

10,000

登録を
終了する

現/預/替 登録の終了
(引出し(ドドア)が開きます)

5,000

レシートの見かた

お買上票
毎度ありがとうございます

— 店名ロゴ

またの御来店を
お待ちしております
ありがとうございました

— コマーシャル
メッセージ

2021年03月25日 15:42
00123H0204

— 日付/時刻

部門1
部門8

— 部門名

単価

内税小計
内税小計
内税10%
端数切り捨て

— 商品合計額

— 内税額

— お買い上げ点数

— 税込み売上金額

部門1 内税3,800
部門8 非税1,200
**小計 ¥5,000
内税小計 ¥3,800
内税10% ¥345
端数 2個 ¥345
**合計 ¥5,000
現金 ¥10,000
おつり ¥5,000

— 預り金額

— つり銭金額

レジスタ番号/一連番号

※この例では、消費税を10%で計算しています。

MEMO

●部門5～部門8を登録するとき

部門キー（**部門5**～**部門8**）の前に**シフト**を押します（部門8の例：**部門シフト** **部門4**）。

●売上とちよほどの金額を受け取ったとき

預り金額を入れずに直接**現/預/替**を押して、取引操作を終えることもできます。

●**#/時刻**（小計）キーのはたらきについて

#/時刻（小計）を押すと、その時点での合計額が表示されます。押しても売上には影響しないので、登録途中に何回でも押すことができます。また、合計額を表示する必要がないときは、押さなくてもかまいません。

●あらかじめ単価を部門キーに設定しておく、部門キーを押すだけで単価を登録できます（プリセット登録）（「部門の単価設定」**16**ページ）。

●区分記載請求書等保存方式および適格請求書等保存方式（インボイス）に対応したレシートが印刷できます。（区分記載請求書等保存方式への対応について）（**10**ページ）

ご注意

売上金額より、預り金額が小さかったときは、**現/預/替**を押しても引出しが開きません。

表示部に“0”と不足額が表示されます。もう一度、**現/預/替**を押して登録を終了するか、不足額より大きな預り金額を入れ、**現/預/替**を押して登録を終了させてください。

POINT! 操作をまちがえたときは

- ピーという警告音が鳴ったとき（**3**ページ）
- まちがえて登録したとき（**10**ページ）

●消費税の処理について

前もって設定した内容でおこなわれます（**23**ページ）。

●店名ロゴについて

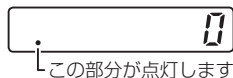
- 「お買上票」が「領収証」のどちらかを選ぶことができます（**17**ページ）。
- カスタマサポートツールを使うと、パソコンで作成した画像データをレジスタの店名ロゴとして使うことができます。くわしくはカスタマサポートツールの「取扱説明書」（PDFマニュアル）をごらんください。
- グラフィック店名ロゴの作成をご依頼の上、使用することもできます（**37**ページ、**39**ページ）。

POINT! レシートの発行を止めるには

機能切りかえスイッチを【登録】の位置に合わせる。

**レシート
発行/停止**を押す。

を押すごとに、レシートの発行/停止が切りかえられます。
レシートの発行が停止状態のときは、右図のように表示部に"."が表示されます。



MEMO

- レシートの発行が停止状態でも、一つの取引が終わったすぐ後で[発行/停止]を押すと、その取引についてのみレシート(後レシート)が発行できます(※下記)。
- レシートの発行を停止できるのは、機能切りかえスイッチの位置を【登録】にしておこなった操作に限ります。また、記録紙として使用されている場合も、この機能は使えません。
- レシートの発行が停止状態のとき、登録途中の営業記録を印字することができます(※下記)。

同じ商品を2個以上販売する

同じ商品を複数個販売するときの登録方法には、個数の少ないときに使うと便利な「リピート登録」と、個数の多いときに使うと便利な「乗算登録」の2種類があります。

●個数の少ないとき…………… **リピート登録**

単価を入力して部門キーを個数分だけ繰り返します。

例 350円の商品(部門1、消費税内税対象)を3個売る時

3 5 0 (350円、部門1)

部門5 部門1 (繰り返し)

部門1 内¥350
部門1 内¥350
部門1 内¥350

●個数の多いとき…………… **乗算登録**

(単価) × (個数) で登録します。

例 350円の商品(部門1、消費税内税対象)を8個売る時

3 5 0 (350円)

⊗ 8 部門5 部門1 (×個数、部門1)

部門1 350 × 8
内¥2,800

MEMO あらかじめ単価を部門キーに設定しているときは、(個数) × (部門キー) で登録します。

両替をするとき/引出しを開けるときは…………… 両替

取引が終了しているときに[両替]を押します。



レシート発行停止中にレシートを発行するには…………… 後レシート

レシートを発行しないようにしているとき、ひとつの取引が終わったすぐ後で[発行/停止]を押すと、レシートを発行することができます。このことを「後レシート」と呼びます。

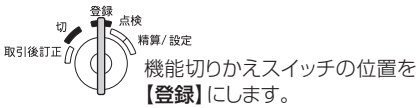
MEMO

- レシート発行/停止の切りかえ方法は「レシートの発行を止めるには」(※上記)をごらんください。
- ひとつの取引が40商品を超えたときは、明細が印字されず合計金額のみが印字されます。
- プリンタを記録紙としてご使用の場合は、この機能は使えません。

レシート発行停止中に登録途中の営業記録を印字する

レシートの発行を停止にして使われているとき、登録途中に[発行/停止]を押すと現在登録中の営業記録を印字して確認することができます。

ご注意 この機能は、「印字形式の設定(1)」を「レシート」に設定してあるときのみ使用できます(※19ページ)。



便利な使いかた

単品の現金売りが多いときは

単品で売ることが多い商品の部門を、現金単品売りに設定しておくことで「現金」を押す操作が省略できます。たとえば、部門1に現金単品売りを設定しておくことで、金額を入力して「部門1」を押すだけで登録を終了できます。

また、単価を部門キーに設定しておくことで、部門キーひとつで登録が終了します。

例	350円の商品(部門1、消費税内税対象)を売るとき	3	5	0	部門5	部門1 (350円、部門1、登録の終了)	部門1	内¥350
		部門5	部門1	**小計	¥350			
							内税小計	¥350
							(内税 10%)	¥31
							個数	1個
							現金	¥350

※この例では、消費税を10%で計算しています。

- MEMO
- 他の登録をした後では、現金単品売りを設定した部門キーを押しても、登録は終了しません。
 - 現金単品売りの設定および単価の設定は、15ページおよび16ページをごらんください。

値引きするには

●個々の商品から値引きするとき

部門キーを押した直後、値引き額を入力して「 \ominus 」を押します。

例	250円の商品(部門1、消費税内税対象)を30円引きで売るとき	2	5	0	部門5	部門1 (30円、値引き)	部門1	内¥250
		部門5	部門1	3	0		\ominus 支払	(-)

●小計額から値引きするとき

「 $\#$ /時刻小計」を押したあと、値引き額を入力して「 \ominus 」を押します。

例	小計額(1470円)から70円を値引きするとき	#/時刻小計	(小計の計算)	7	0	\ominus 支払	(70円、値引き)	**小計	¥1,470
								(-)	-70

- MEMO
- あらかじめ「 \ominus 」に値引き額を設定しておくことで、「 \ominus 」を押すだけで値引きできます(※16ページ)。
 - 値引き額が設定してあっても、値引き額を打ち込んだ場合は、その額が優先します。
 - 外税課税後の合計から端数金額を値引きするときは、「 \ominus 」を非課税に設定しておきます(※17ページ)。

割引・割増をするには

「%」は割引か割増のどちらかに使用できます。初期値は割引です。

●個々の商品に割引・割増をするとき

部門キーを押した直後に、割引率を入力して「%」を押します。また、割増のときは割引率のかわりに割増率を入れます。

例	5,600円の商品(部門1、消費税内税対象)を、10%割引で売るとき	5	6	00	部門5	部門1 (割引率10%、割引)	部門1	内¥5,600
		部門5	部門1	1	0		%入金	-10%

●小計額に割引・割増をするとき

#/時刻小計を押したあと、割引率を入力して**%^{入金}**を押します。割増のときは割引率のかわりに割増率を入れます。

例 小計額 (1,200円) から5%割引くとき	#/時刻小計 (小計の計算) 5 %^{入金} (割引率5%、割引)	<table border="1"> <tr><td>**小計</td><td>¥1,200</td></tr> <tr><td></td><td>-5%</td></tr> <tr><td>%</td><td>-60</td></tr> </table>	**小計	¥1,200		-5%	%	-60
**小計	¥1,200							
	-5%							
%	-60							

- MEMO**
- %^{入金}**に、あらかじめ割引率や割増率を設定しておくこともできます (※16ページ)。
 - 割引/割増率が設定してあっても、割引/割増率を打ち込んだときはその率が優先されます。
 - %^{入金}**を割増にするときは、設定を変更してください (※17ページ)。
 - 小計がゼロまたはマイナスのとき、小計からの割引や割増はできません。

■信用売りでの支払いがあったとき

つけ払いや小切手などの信用売りでの支払いでは、**現預金**のかわりに**信用**を押します。

MEMO 現金での支払いとは別に集計されます。

個数 信用	¥4,000
----------	--------

「現金」のかわりに「信用」と印字されます。

■商品券での支払いがあるとき

ビール券、商品券などの支払いでは、**現預金**のかわりに**券売**を押します。

MEMO 現金での支払いとは別に集計されます。

個数 券	¥4,000
---------	--------

「現金」のかわりに「券」と印字されます。

■顧客番号などの任意の番号を印字したいときは(不加算コード)

お客様の顧客番号などを営業記録(レシート)に残したい場合、任意の番号を印字できます。番号は16桁まで入れられます。

例 顧客番号123のお客様に9,800円の商品(部門1、消費税内税対象)を売るとき	1 2 3 #/時刻小計 (顧客番号、番号印字)	<table border="1"> <tr><td>#00000000000000123</td><td>内¥9,800</td></tr> <tr><td>部門1</td><td>¥9,800</td></tr> <tr><td>**小計</td><td>¥466</td></tr> </table>	#00000000000000123	内¥9,800	部門1	¥9,800	**小計	¥466
#00000000000000123	内¥9,800							
部門1	¥9,800							
**小計	¥466							
	9 8 00 部門5 現預金 (登録の終了) 部門1							

■返品があったとき

返品があったときは、その商品の金額を入力して符号マイナスに設定した部門キーを押してから、**現預金**を押します。

MEMO ご購入時、すべての部門は符号プラスに設定されています。部門キーを符号マイナスに設定するときは、「部門キーの設定」(※15ページ)をごらんください。

■日付と時刻を確認する

取引操作が終了しているときに**#/時刻小計**を押します。表示を消すときは**削除**を押します。

●時刻表示 1秒刻みで点滅

15-05	↔	21-03-25
午後3時5分(24時間制)	交互に表示	2021年3月25日

●日付表示

MEMO 日付や時刻を修正したいときは「日付と時刻を設定する」(※4ページ)の方法で正しい日時に設定してください。

売上と関係ない現金の出し入れがあったとき(支払/入金)

つり銭用の現金やつけの入金があったときは、金額の後に「入金」を押します。
新聞代などの出金があったときは、金額の後に「支払」を押します。

例 つり銭用の用意のために現金3,000円を引出しに入れるとき(入金のとき)	3 0 00 % <small>入金</small> (3,000円、入金)	入金 ¥3,000
例 電話代支払いのために現金6,000円を引出しから出すとき(出金のとき)	6 0 00 ⊖ <small>支払</small> (6,000円、出金)	支払 ¥6,000

領収証を発行したいときは

ひとつの取引が終わったすぐ後で「**領収証**」を押すと、その取引の領収証を発行することができます。また、領収金額を入力してから「**領収証**」を押すと、入力した金額の領収証を発行することができます。(この場合、消費税額と日付は印字されません。)

例 直前の取引(税込合計55,000円)の領収証を発行するとき

※この例では、消費税を10%で計算しています。また、収入印紙貼付金額は50,000円に設定されています。

領収金額	領収証一連番号	日付	領収証一連番号
領 収 証 No. 0207 2021年03月25日			2021年03月25日 16:48 0001234215 * 領収証控 *
様 金 55,000円 但し			(税込金額) ¥55,000 (税別金額) ¥50,000
収入 印紙	上記正に領収いたしました (税抜金額 ¥50,000) (消費税等 ¥5,000)		No. 0207 領収証控え 領収証と切り離して 店用の控えにします。
大塚市の店シャープ 長池店 大阪市阿倍野区○○町12番34号 TEL 06-XXXX-XXXX		印	きりとり線 はさみ等で切り離してください。

収入印紙貼付枠
収入印紙の貼付が必要な金額以上のときに印字します。(※21ページ)

領収証ロゴ
カスタマサポートツールで設定した内容を印字します。領収証ロゴは作成依頼することもできます。(※39ページ)
(本製品で領収証ロゴを設定することはできません。)
レシートと同じロゴ(店名ロゴ)を印字するようにも設定できます。(※20ページ)

ご注意 横型領収証は2種類の消費税の区分記載に対応していません。このため、区分記載請求書や適格請求書(インボイス)として使用できません。なお、レシートは、メッセージなどの設定を変更することにより、そのまま区分記載請求書や適格請求書(インボイス)として使用できます(※10ページ)。

- MEMO**
- 直前の取引の領収証は1回に限り発行できます。
 - 領収証控えを発行したくないときは、「印字形式の設定(2)」で設定をかえてください(※20ページ)。
 - 領収書控えを発行しないときでも、店名ロゴやコマースメッセージは印字します。きりとり線で切り離してください。
 - 領収金額を入力して領収証を発行したときは、入力した金額(領収金額)を税抜き金額と仮定して収入印紙貼付枠を印字しますので、手書きで書き込まれる税抜き金額に応じて収入印紙を貼付してください。
 - 領収金額を入力して領収証を発行するとき、領収金額を内税対象とみなして内税の消費税額を計算して印字するように設定できます。「任意金額の領収証発行時の内税額印字」で設定変更してください(※20ページ)。

売上登録をするとき

区分記載請求書等保存方式への対応について

このレジスタは、軽減税率（複数税率）導入に伴う区分記載請求書等保存方式に対応しています。以下の設定により、区分記載請求書等保存方式に対応したレシートが印刷できます。

区分記載に対応したレシート

お買上票
毎度ありがとうございます

またの御来店を
お待ちしております
ありがとうございました

2021年03月25日 15:42
000123#0204

日用品	内¥1,320	
農林品	内 ¥540	商品名： 16ページ（部門名の設定）
**小計	¥1,860	消費税率ごとの小計と税額： 21ページ（●印字形式の設定（4））
内税小計 （内税 10%）	¥1,320	
内2小計 （内税 2 8%）	¥540	
個数	2個	
**合計	¥1,860	軽減税率対象商品を示すメッセージ： 18ページ（メッセージ印字様式の設定）
現金	¥2,000	
おつり	¥140	

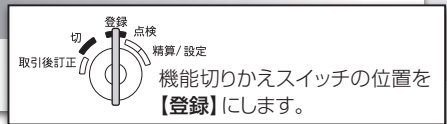
内2は軽減税率対象商品です

MEMO

レシート下端のメッセージに事業者番号など必要な情報を設定することにより、2023年10月に導入予定の適格請求書等保存方式（インボイス）に対応したレシートが印刷できます。メッセージの設定は、カスタマーサポートツールを使用します。区分記載請求書等保存方式、適格請求書等保存方式（インボイス）については、財務省（国税庁）のホームページでご確認ください。

売上登録をするとき

訂正のしかた



数字を打ちまちがえたとき

☞で数字を消し、正しい数字を入れなおします。

登録の直後にまちがいに気付いたとき……………直前訂正

部門キー、 $\%$ 、 \ominus を押してすぐに、その金額や部門、割引率、割増率、値引額などのまちがいに気付いたときは、訂正を押します。訂正を押す直前の登録が取り消されます。

例 1,250円の商品（部門1、消費税内税対象）を、誤って1,280円と登録したとき

	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 8 0</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; font-size: small;">部門5 部門1</div>	
	訂正（訂正）	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 5 0</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; font-size: small;">部門5 部門1</div>	
	現預替（登録の終了）	

部門1	内¥1,280	
部門1	内訂-1,280	
部門1	内¥1,250	
**小計	¥1,250	
内税小計 （内税 10%）	¥1,250	
個数	¥113	
現金	¥1,250	

※この例では、消費税を10%で計算しています。

登録の途中でまちがいに気付いたときは……………指定訂正

〈戻り値〉、〈信用〉、〈券売〉を押す前に金額や部門をまちがって登録したときは、取り消したい金額、訂正、取り消したい部門キーと打ちなおしたあと、正しい登録をします。

例 1,250円の商品(部門1、消費税内税対象)と、800円の商品(部門1、消費税内税対象)を登録したあと、最初の登録を1,280円に訂正するとき

1 2 5 0 部門5 (誤った登録)
 8 00 部門5
 1 2 5 0 訂正 部門5 (誤った登録の訂正)
 1 2 8 0 部門5 (正しい登録)

戻り値 (登録の終了)

部門1	内¥1,250
部門1	内¥800
部門1	内訂-1,250
部門1	内¥1,280
**小計	¥2,080
内税小計 (内税 10%)	¥2,080
個数	¥189
現金	2個
	¥2,080

※この例では、消費税を10%で計算しています。

登録した内容を取り消すときは……………全項目取消

登録している内容をすべて取り消すときは、〈戻り値〉、〈信用〉、〈券売〉を押して取引を終了させる前に、〈戻り値/小計〉を押してから〈訂正/小計〉を押します。

例 商品(小計額3,000円)を登録したあと、すぐに取り消すとき

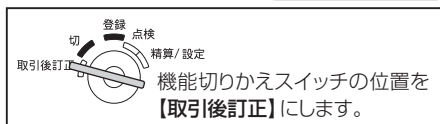
#/時刻 小計 (小計の計算)
 訂正 (訂正)
 #/時刻 小計 (小計訂正)

部門2	¥3,000
**小計	-3,000
取消	
**合計	¥0

MEMO 1回の取引で30商品を超えて登録した場合は、取り消しできません。いったん、〈戻り値〉を押して取引を終了し、「登録後に取り消したいときは」(P.11ページ)の方法で取り消してください。

登録後に取り消したいときは……………取引後訂正

〈戻り値〉、〈信用〉、〈券売〉を押した後に、登録のまちがいに気づいたときは、機能切りかえスイッチを【取引後訂正】(取引後訂正モード)の位置にした後、まちがえた内容と同じ登録をして登録を取り消し、正しい登録を最初からやり直します。



例 780円の商品(部門1)と、220円の商品(部門2)を登録しレシートを発行したあとに、登録を取り消すとき

機能切りかえスイッチを【取引後訂正】に合わせる。

ご注意 取引後訂正モードに入る前に直前の取引を終了してください。

誤った営業記録(レシート)の通りに入力する。

誤った営業記録(レシート)

部門1	内¥780
部門2	内¥220
**小計	¥1,000
内税小計 (内税 10%)	¥90
個数	2個
現金	¥1,000

7 8 0 部門5
2 2 0 部門6

戻り値

取り消しの営業記録(レシート)

* 取引後訂正 *

部門1	内¥780
部門2	内¥220
**小計	¥1,000
内税小計 (内税 10%)	¥90
個数	2個
現金	¥1,000

【取引後訂正】の位置で登録したときに印字されます。

※この例では、消費税を10%で計算しています。

機能切りかえスイッチを必ず【登録】の位置に戻し、正しい登録を最初からやりなおす。

ご注意 誤った営業記録と、取り消しの営業記録は、取り消しの証拠になります。必ず保管しておき、点検・精算時のチェックに反映させてください。

MEMO ●レシートを発行しない状態でお使いの場合は、〈戻り値〉を押して誤ったレシートを発行しておくことと取り消しの確認ができます。


●【取引後訂正】の位置での登録は、【登録】の位置とは逆にマイナスの登録になります。登録の取り消し以外に、返品処理のときも上記の方法を使うことができます。

売上の点検・精算


営業中に売上を表示で確認するには……………ワンタッチ点検

営業中に、部門ごとの売上、総売上合計、引出し内の金額をワンタッチで確認できます。(表示のみ)ワンタッチ点検をおこなっても設定内容や登録内容は変わりませんので、必要に応じて何回でも操作できます。

機能切りかえスイッチを【点検】に合わせる

- 部門ごとの売上を確認するとき → 
- 総売上合計を確認するとき → 
- 引出し内の金額を確認するとき → 



MEMO 表示を消すときは、を押します。

項目別に売上を集計するには……………日計全項目点検

部門や項目別に登録内容を集計してレポートの形で確認できます。

機能切りかえスイッチを【点検】に合わせる。

を押す。(引出しが開きます。)



全項目の売上を精算するには……………日計全項目精算

一日の終わりには、必ず精算をしてください。

精算しないと、次の日の売上に混ざってしまいます。

精算すると、レポートが印字され、レジスタに記憶されている取引内容がクリアされてゼロになります。ただし、累計と精算回数はクリアされません。

機能切りかえスイッチを【精算/設定】に合わせる。

を押す。(引出しが開きます。)



印字例 (※この例では、消費税1を10%で計算しています。)

日計 精算	Z1 0001	点検のときは“点検”を印字
累計	¥0,000,000,202,911	精算回数
* 部門 *		累計金額
部1	10数	点検では印字しません
部門1	¥25,280	
部2	2数	
部門2	¥13,100	
部3	53数	
部門3	¥90,502	
部7	11数	
部門7	¥4,800	
*部門計	83数	①プラス部門合計
	¥206,322	
部8	4数	
部門8	-2,900	
一部門計	4数	②マイナス部門合計
	-2,900	

* 取引 *	
(-)	3数
	-290
	2数
%	-1,135
**売上計	¥201,997
外税小計	¥9,140
外税 10%	¥914
内税小計	¥129,357
(内税 10%)	¥11,753
*消費税計	¥12,667
非課税計	¥63,500
**純計	¥190,244
売上点数	83数
**総合計	¥202,911
平均単価	¥2,445

- ③小計値引の回数と合計金額
- ④小計割引/割増の回数と合計金額
- ⑤売上小計
- ⑥外税1課税売上合計
- ⑦外税額1合計
- ⑧内税1課税売上合計
- ⑨内税額1合計
- ⑩消費税額合計
- ⑪消費税非課税売上合計
- ⑫税抜き純売上合計
- ⑬総売上点数
- ⑭総売上合計
- ⑮平均売上単価

⑤売上小計=①+②+③+④
 ⑩消費税額合計=⑦+⑨+(⑪+⑬)
 ⑫税抜き純売上合計=⑤-⑧-(⑩)
 ⑬総売上合計=⑤+⑦+(①①)

(-) 1数	②④個々の商品に対する値引の回数と合計金額
-250	
% 2数	②①個々の商品に対する割引/割増の回数と合計金額
-500	
訂正 3数	②②直前訂正、指定訂正の回数と合計金額
¥38,500	
取引後訂正 1数	②③取引後訂正の回数と合計金額
¥4,998	
取消 1数	②④全項目取消回数と合計金額
¥23,750	
入金 1数	②⑤入金の回数と合計金額
¥15,000	
支払 1数	②⑥支払いの回数と合計金額
¥6,000	
現金 16数	②⑦現金売りの回数と合計金額
¥148,161	
券 4数	②⑧券売りの回数と合計金額
¥15,000	
信用 2数	②⑨信用売りの回数と合計金額
¥40,250	
領収証 1数	③⑩領収証の発行回数と発行合計金額
¥55,000	
印紙領収 1数	③⑪収入印紙貼付の領収証発行回数と発行合計金額
¥55,000	
両替 4数	③⑫両替の回数
取引数 22数	③⑬取引件数
現金在高 ¥156,661	③⑭引出し内の現金在高
券在高 ¥15,000	③⑮券在高
信用在高 ¥40,250	③⑯信用在高
債/券 約 ¥500	③⑰信用/券売りによるつり銭の合計金額

* 消費税2(8%)を使用しているとき印字されます。

外2小計 ¥6,000	⑩外税2課税売上合計
外税2 8% ¥480	⑪外税額2合計
内2小計 ¥7,000	⑫内税2課税売上合計
(内税2 6%) ¥516	⑬内税額2合計

ある期間の売上累計を集計するには…………… 期間計点検/精算

日計売上とは別に、ある期間分(1週間、1カ月など)の売上高を集計した点検・精算レポートが印字できます。前回の期間集計で精算をおこなってから、今回操作するまでの集計(ある期間分の部門売上合計と総売上合計)が印字されます。これらの期間集計をするには、毎日、売上を精算する必要があります。

ご注意 期間集計をするには、毎日、売上を精算する必要があります。
たとえば、4月1日から4月30日までの売上高を集計したいとき、売上の精算を毎日おこなった後、最終日の30日に期間の点検または精算をおこなってください。

●期間計点検レポート

機能切りかえスイッチを【点検】に合わせる。

現預替を押す。
(引出しが開きます。)



期間計点検 _____ 点検レポート記号
* 年 月 *

これ以降のレポートの内容は、日計全項目のレポートと同じものです(※12ページ)。

●期間計精算レポート

機能切りかえスイッチを【精算/設定】に合わせる

現預替を押す。
(引出しが開きます。)



期間計精算 _____ 期間計の精算回数
累計 ¥0,000,002,073,664 累計金額

これ以降のレポートの内容は、日計全項目のレポートと同じです(※12ページ)。

営業記録の確認(電子ジャーナル)

■ 営業記録を印字する(電子ジャーナルの発行)

このレジスタは、ロール紙に印字するかわりに、営業記録(取引データ)を現在からさかのぼって、3000行分までメモリーに記憶しています。(メモリーでは1件の取引ごとに、実際の印字行数+1行(管理行)を使用します。たとえば印字例(A)の取引では印字行数9行+1行(管理行)になり、メモリーの10行分を使用します。)

このデータは営業記録として印字することができます(電子ジャーナルの発行)。

ご注意 連続して長い行数を印字すると、途中で数秒間印字が止まることがあります。印字停止中は“-”を表示し、その後、印字を再開します。

● 営業記録の点検レポート(くりかえし印字することができます。)

機能切りかえスイッチを【点検】に合わせる

7 00 (X) 規/預/替 を押す



● 営業記録の精算レポート(印字したあと、メモリーの営業記録を消します。)

機能切りかえスイッチを【精算/設定】に合わせる

7 00 (X) 規/預/替 を押す



● 最後から10取引分の営業記録の点検レポート

機能切りかえスイッチを【点検】に合わせる

7 1 0 (X) 規/預/替 を押す



- MEMO**
- 営業記録の点検・精算をしている途中で印字を中止するときは、**強制解除**を押すと印字を止めることができます。ただし、精算を中止したときは、営業記録(取引データ)も消えずにメモリーに残ります。
 - 売上の点検・精算レポートについては、営業記録としてレポートのタイトルのみ印字します。

日計 点検	
* 電子ジャーナル *	
2021年03月25日 15:13	
000123#1015	
部門2	内#800
部門1	内#1,200
部門1	内#1,200
**小計	¥3,200
内税小計	¥3,200
(内税 10%)	¥290
個数	3個
現金	¥3,200
2021年03月25日 15:14	

おつり	
2021年03月25日 15:17	
000123#1025	
部門2	内#800
部門1	内#1,200
部門1	内#1,200
**小計	¥3,200
内税小計	¥3,200
(内税 10%)	¥290
個数	3個
現金	¥3,200
* 記録終了 *	

(A) メモリー10行分を使用(印字9行+1行)

● メモリーに保存しきれなくなったときの動作について

メモリーに保存しきれなくなったとき(メモリーフル時)の動作は以下の3種類から選ぶことができます。(※21ページ)

継続する:

メモリーの残りがなくなると、古いデータを削除します。警告表示はしません。

警告のみ:

メモリーの残りが15%以下になると、表示部の右から6、7桁目に"."を表示します。その後の登録は可能です。

ロックする:


メモリーの残りが15%以下になると、表示部の右から6、7桁目に"."を表示します。メモリーの残りがなくなると、エラーとなり"E-E"を表示します。続けて登録ができなくなりますので、丁度締めか取消の操作をおこなった後、営業記録を精算してください。

お店に合わせた設定

登録 点検
切 精算/設定
取引後訂正

機能切りかえスイッチの位置を【精算/設定】にします。

設定の前に

本書では、ご購入時の設定内容（初期値）に  をつけて説明しています。このままの機能で使用する場合は、設定しなおす必要はありません。

消費税2	1	初期値
消費税1	0	

設定モードの表示について

機能切りかえスイッチを【精算/設定】に合わせて、置数キーまたは  を押して設定を始めると表示部に“P”が表示され、設定モードに入ります。設定の終わりに  を押すと、“P”が消えて設定モードを終了します。



ご注意 設定モードを終了しないで機能切りかえスイッチを【精算/設定】以外の位置に回しても、“P”の表示が点灯したままの状態となり、ひき続き設定中になります。そんなときは、もう一度【精算/設定】に戻して設定を正しく終了させてください。

部門キーの設定

消費税の種類：

消費税1/消費税2を設定します。非課税商品の場合でも、どちらかを設定してください。

消費税率を変更したい場合は、「消費税の税率および免税点の設定」（※24ページ）をごらんください。

課税方法：

外税/内税/非課税を設定します。

符号のプラス/マイナス：

通常の売上を登録するプラス部門、または支払い金額を登録するマイナス部門を設定します。

現金単品売り：

単品で現金売りするとき用いると便利な機能です。現金単品売り指定の部門へ登録をおこなうと、自動的に現金売りとして取引を終了します。ただし、通常の部門登録後、現金単品売りの部門を登録しても、取引は終了せず登録を続けることができます。


単価の登録方法：

それぞれの部門について単価の登録方法を選択します。単価の登録方法には、置数キーによって単価を打ち込むオープン登録と、あらかじめ設定されている単価（プリセット単価）を使用するプリセット登録があります。

例 部門3に消費税1・非課税・プラス符号（プラス部門）・現金単品売りしない・オープンおよびプリセット登録を設定するとき

消費税2	1	内税	2	符号マイナス	1
消費税1	0	外税	1	符号プラス	0
		非課税	0		

部門キー

0 0 0 0 3  部門7 現原替

現金単品売りする 1

現金単品売りしない 0

単価の登録方法	
オープン登録とプリセット登録	3
プリセット登録のみ	2
オープン登録のみ	1
登録禁止	0

符号

なし：プラス符号

ー：マイナス符号

* 設定 *

部3 非 0 03

現金単品売りの指定 単価の登録方法

税の属性


外：消費税1 外税対象

内：消費税1 内税対象

外2：消費税2 外税対象

内2：消費税2 内税対象

非：非課税

- MEMO**
- 部門5～部門8を設定するときは、部門キーの前に  を押します。
 - ご購入時、消費税1は10%、消費税2は8%が設定されています。消費税率8%で使いたい場合は消費税2を選択してください。

部門の単価設定

部門キーに単価を設定すると、部門キーを押すだけでその単価の商品を登録できます（プリセット登録）。売れ筋商品の単価を設定しておくこと、金額の入力を省けて便利です。

例 部門2に単価500円を設定するとき

設定 * 部2 部門2 内 500 03
単価

- MEMO**
- 部門5～部門8を設定するときは、部門キーの前に 部門 を押します。
 - 何も入力しないで部門キーを押すと0円を設定します。
 - 単価の登録方法（ P.15 ページ）が「登録禁止」または「オープン登録のみ」の部門に対して単価を設定すると、単価の登録方法が次のように変更されます。
「登録禁止」→「プリセット登録のみ」、「オープン登録のみ」→「オープン登録とプリセット登録」

部門名の設定

それぞれの部門について、部門を語句コード表（ P.36 ページ）から選択して設定できます。

例 部門1の部門名（商品名）を語句コード表を使って“果物”と設定するとき

語句コード：果物（010）
「語句コード表」（ P.36 ページ）

設定 * 部1 果物 内 0 01

- MEMO**
- 部門5～部門8を設定するときは、部門キーの前に 部門 を押します。
 - カスタマサポートツールを使って、任意の部門名をご自身で作成することができます。くわしくはカスタマサポートツールの「取扱説明書」（PDFマニュアル）をごらんください。

支払、入金の設定

● 値引額／割引率（割増率）の設定

F01 に値引額を設定しておくこと、 F01 を押すだけで、その値引額を登録できます。
 F02 に割引率（割増率）を設定しておくこと、 F02 を押すだけで、その割引率（割増率）が登録できます。

例 F01 に値引額50円を設定するとき

設定 * F01 (-) 内外* -50
値引額

例 F02 に5%を設定するとき

設定 * F02 % 内外* -5%
割引(割増)率

- MEMO** 何も入力しないで F01 （値引額の設定時）または F02 （割引率（割増率）の設定時）を押すと0円または0%を設定します。

●符号のプラス/マイナスや課税対象、税種などの設定

例 \ominus^{RS} にマイナス符号(値引)、消費税1、内税および外税対象を設定するとき

符号		課税対象	
マイナス(値引/割引)	1	消費税1および2	2
プラス(値増し/割増)	0	消費税2	1
		消費税1	0

税の属性

外: 消費税1 外税対象	符号	-50
内: 消費税1 内税対象	なし:	プラス符号
外2: 消費税2 外税対象	-:	マイナス符号
内2: 消費税2 内税対象		
外*: 消費税1および2 外税対象		
内*: 消費税1および2 内税対象		
内外*: 消費税1および2 外税/内税対象		
非: 非課税		

* 設定 *
F01 (-)

登録 点検
切 取引後訂正 計算/設定

1 0 3 ⊗ ⊖ 支払 現/預/借

内税および外税	3	外税	1
内税	2	非課税	0

- MEMO**
- 割引(割増)の設定をするときは、 \ominus^{RS} のかわりに $\%^{RS}$ を押します。
 - 符号を「プラス」に設定すると、値増し(プレミアム)/割増しとしてはたります。

■現/預/借、信用、券売の設定

現/預/借、信用、券売について、預り金額の入力強制を設定しておくことができます。また、各キーに対して個別にレシート下端へメッセージを印字する/しないが設定できます。印字するに設定したときは、「メッセージ印字様式の設定」(P18ページ)でレシートの下端にメッセージ3行印字を選択し、「印字形式の設定(2)」(P20ページ)で「取引締めキー使用時のみ印字する」に設定してください。

例 現/預/借を「レシート下端に印字しない」、「預り金額の入力を強制」に設定するとき(現/預/借に対する設定には $\#/\text{時刻}/\text{小計}$ を使用します)

レシートの下端へのメッセージ印字	
する	1
しない	0

登録 点検
切 取引後訂正 計算/設定

0 1 ⊗ #/時刻/小計 現/預/借

預り金額の入力	
強制	1
非強制	0

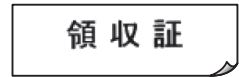
* 設定 *
F23 現金 01

■店名ロゴの選択

店名ロゴの印字を、右の2つの標準ロゴから選択できます。

お買上票

領収証



例 店名ロゴ「領収証」を選択するとき

登録 点検
切 取引後訂正 計算/設定

#/時刻/小計 5 6 ⊗ 1 #/時刻/小計 現/預/借

店名ロゴの設定の開始

店名ロゴの選択	
領収証を印字	1
お買上票を印字	0

* 設定 *
#56 1

MEMO 店名ロゴには上記の①標準ロゴの他、②カスタマサポートツールで設定したグラフィック店名ロゴと③作成依頼したグラフィック店名ロゴ(P37ページ、39ページ)があります。②③の店名ロゴを設定すると、この設定に関係なく②③の店名ロゴを印字します。

ご注意 カスタマサポートツールで設定したり、作成依頼したグラフィック店名ロゴをご使用になっている場合に、この設定をおこなうと店名ロゴが上記の標準ロゴに変更され、グラフィック店名ロゴのデータは消去されますのでご注意ください。

メッセージ印字様式の設定

レシートに印字されるコマースメッセージと店名ロゴの印字様式は、次の8つの中から選択できます。軽減税率に対応したレシートを印刷するためにメッセージ4行目に、初期値として"内2は軽減税率対象商品です"を設定しています。軽減税率対象商品を取り扱う場合には、メッセージ4行目を印字する印字様式(㉔㉕㉖㉗㉘㉙)のいずれかを設定してください。

MEMO カスタマサポートツールを使って、コマースメッセージの内容をご自身で作成することができます。くわしくはカスタマサポートツールの「取扱説明書」(PDFマニュアル)をごらんください。

- ㉔: メッセージ3行 ㉕: 店名ロゴ ㉖: 店名ロゴ(先頭) ㉗: メッセージ6行
 メッセージ3行(下端)

メッセージ1行目 2行目 3行目	店名ロゴ	店名ロゴ	メッセージ1行目 2行目 3行目 4行目
		メッセージ4行目 5行目 6行目	5行目 6行目

※4行目と5行目の間に空白行が入ります。

- ㉘: 店名ロゴと ㉙: メッセージ3行(先頭) ㉚: 店名ロゴと ㉛: 店名ロゴと
 メッセージ3行 とメッセージ3行(下端) メッセージ3行(先頭)、 メッセージ6行
 メッセージ3行(下端)

店名ロゴ	メッセージ1行目 2行目 3行目	店名ロゴ	店名ロゴ
メッセージ1行目 2行目 3行目	メッセージ4行目 5行目 6行目	メッセージ1行目 2行目 3行目	メッセージ1行目 2行目 3行目 4行目 5行目 6行目
		メッセージ4行目 5行目 6行目	

例 メッセージ印字様式を、“店名ロゴとその下にメッセージ6行印字”に設定するとき

* 設定 *
#11 7

登録 点検
切 取引後訂正 清算/設定
#/#時刻 1 1 ⊗ 7 #/#時刻 現預/借

メッセージ印字様式の設定の開始

印字様式	
㉔: メッセージ3行印字	0
㉕: 店名ロゴのみ印字(メッセージを印字しません。)	1
㉖: 店名ロゴとレシートの下端にメッセージ3行印字	2
㉗: メッセージ6行印字	3
㉘: 店名ロゴとその下にメッセージ3行印字	4
㉙: メッセージ3行とレシートの下端にメッセージ3行印字	5
㉚: 店名ロゴとその下にメッセージ3行、レシートの下端にメッセージ3行印字	6
㉛: 店名ロゴとその下にメッセージ6行印字	7

レジスタ番号の設定

レジスタが複数あるとき、区別するためにレジスタ番号を設定します。

例 レジスタ番号“123”を設定するとき

* 設定 *
#1 000123

登録 点検
切 取引後訂正 清算/設定
#/#時刻 1 ⊗ 1 2 3 #/#時刻 現預/借

レジスタ番号の設定の開始

レジスタ番号: 初期値000000(0~999999)

一連番号の設定

レシートに印字する取引番号を何番からスタートさせるかを設定します。

例 一連番号を“1001”からスタートするとき（ひとつ前の番号“1000”を設定）

* 設定 *
#2 1000

取引後訂正	登録	点検	清算/設定	#/時刻	2	⊗	1	0	00	#/時刻	現/預/借
				一連番号の設定の開始				一連番号：初期値0000(0~9999)			

で注意 精算をおこなっても一連番号はスタート番号に戻りません。毎日同じ番号でスタートさせる場合は、開店前に設定しなおしてください。

領収証一連番号の設定

領収証に印字する一連番号を何番からスタートさせるかを設定します。

例 一連番号を“5001”からスタートするとき（ひとつ前の番号“5000”を設定）

* 設定 *
#16 5000

取引後訂正	登録	点検	清算/設定	#/時刻	1	6	⊗	5	0	00	#/時刻	現/預/借
				領収証一連番号の設定の開始				領収証一連番号：初期値0000(0~9999)				

選択機能の設定

●印字形式の設定(1)

例 印字形式を“レシート”にして、時刻を印字しないに設定するとき

* 設定 *
#6 11100001

印字形式	取引内容	一連番号の印字	レシート発行時の紙送り
レシート 1	明細を印字する 1	しない 1	する 1
営業記録 0	合計を印字する 0	する 0	しない 0

固定：常に“0”

取引後訂正	登録	点検	清算/設定	#/時刻	6	⊗	1	1	1	0	0	0	0	0	1	#/時刻	現/預/借
-------	----	----	-------	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	-------

印字形式の設定(1)の開始	時刻の印字	日付の印字	点検・精算レポートのゼロスキップ
	しない 1	しない 1	する 1
	する 0	する 0	しない 0

- MEMO**
- 「レシート発行時の紙送り」を“する”に設定すると、個数印字の直前を1行あけて印字します。
 - 印字形式を“営業記録”に設定したときは、プリンタの巻取軸にロール紙を取り付けてご使用ください。

紙送りしない場合

果物	内税 3,800
**小計	¥3,800
内税小計	¥3,800
(内税 10%)	¥345
個数	1個
現金	¥3,800

紙送りする場合

果物	内税 3,800
**小計	¥3,800
内税小計	¥3,800
(内税 10%)	¥345
個数	1個
現金	¥3,800

●印字形式の設定(2)

例 お買い上げ点数の印字を“しない”に、取引締めキー使用時のみレシートの下端に印字するに設定するとき

* 設定 * #7 10001011

任意金額の領収証発行時の内税額印字	する	1
	しない	0

#/時刻 使用時の小計額印字	する	1
	しない	0

お買い上げ点数の印字	しない	1
	する	0

領収証控の発行	する	1
	しない	0

登録 点検
取引後訂正

#/時刻 7 ⊗ 1 0 0 0 1 0 1 1 #/時刻 現/預/替

固定：常に“0”

印字形式の設定(2)の開始

後レシート発行時のレシート印字	明細を印字する	1
	合計のみ印字する	0

現金単品売りのレシート印字	合計のみ印字する	1
	明細を印字する	0

レシートの下端へのメッセージ印字	取引締めキー使用時のみ印字する	1
	すべてのレシートに印字する	0

- MEMO**
- 後レシート発行時と現金単品売りのレシート印字の設定は、「印字形式の設定(1)」の取引内容を明細印字に設定してあるときのみ有効となります。
 - レシートの下端へのメッセージ印字で取引締めキー使用時のみ印字するを選択したときは、「[現預替]、[信用]、[券売]の設定」(P.17ページ)で各キーに対して個別に、レシートの下端にメッセージ印字する/しないを設定してください。

●印字形式の設定(3)

例 レシート上に収入印紙用余白を作るに設定するとき

* 設定 * #8 0000001

電子ジャーナルの印字	圧縮印字	1
	通常印字	0

【設定/精算】【点検】位置での印字	圧縮印字	1
	通常印字	0

コマースシャルメッセージの印字	登録モードのみ	1
	全レシート発行時	0

レシートへの収入印紙用余白の作成	余白を作る	1
	余白を作らない	0

登録 点検
取引後訂正

#/時刻 8 ⊗ 0 0 0 0 0 0 0 0 1 #/時刻 現/預/替

固定：常に“0”

印字形式の設定(3)の開始

【登録】【取引後訂正】位置での印字	圧縮印字	1
	通常印字	0

領収証発行時の領収証ロゴ印字	店名ロゴを使う	1
	領収証ロゴを使う	0

- MEMO**
- 圧縮印字に設定すると右のように印字されます。
 - 点検・精算レポートへの印字、「[登録]、[取引後訂正]位置での印字は、「印字形式の設定(1)」の印字形式を営業記録に設定したときのみ有効になります。
 - レシートへの収入印紙用余白を作るに設定しておく、税抜き小計が収入印紙貼付最小額以上のレシートに収入印紙貼付用の余白を作成します。
 - 収入印紙貼付最小額は初期値50,000円に設定されています。変更するときは、次のページの「収入印紙貼付最小額の設定」をごらんください。
 - コマースシャルメッセージの印字を登録モードのみに設定した場合でも、「メッセージ印字様式の設定」(P.18ページ)で印字様式@④⑤を設定しているときは、レシート上端のメッセージ3行(もしくは4行)は必ず印字します。

圧縮印字例(営業記録)

000123#1021	
総印字	内¥600
登録モード	内¥600
##/小計	¥1,200
内税小計	¥1,200
(内税 10%)	¥100
値販	2個
現金	¥1,200
2021年03月25日 15:26	
000123#1022	
総印字	内¥55,000
##/小計	¥55,000
内税小計	¥55,000
(内税 10%)	¥5,000
値販	1個
現金	¥55,000
* 前日締め終了 *	

収入印紙用余白印字例

果物	内¥55,000
##/小計	¥55,000
内税小計	¥55,000
(内税 10%)	¥5,000
個数	1個
現金	¥55,000


収入印紙用余白

●収入印紙貼付最小額の設定

ここで設定した金額以上のレシートに収入印紙貼付用の余白を作ります。領収証発行したときは領収証に収入印紙貼付枠を印字します。領収証に収入印紙が必要な最小金額が改正されたときは、貼付最小額を設定しなおしてください。

例 収入印紙の貼付最小額を40,000円に設定するとき

* 設定 *
 #17 40,000


 取引後訂正 切 登録 点検 計算 / 設定

#/時刻 /小計 **1** **7** **⊗** **4** **00** **00** #/時刻 /小計 現/預/借

収入印紙貼付最小額の設定の開始 貼付最小額：初期値50,000円(0~99,999,999)


MEMO レシートに収入印紙貼付用の余白を作るときは、「印字形式の設定 (3)」でレシートへの収入印紙用余白の作成を“余白を作る”に設定しておく必要があります。

●印字形式の設定 (4)

例 レシートに内税記号を印字しない設定にするととき

* 設定 *
 #9 00111101

レシートに外税課税小計を印字		レシートに外税記号を印字		レシートに非課税記号を印字	
する	1	する	1	する	1
しない	0	しない	0	しない	0


 取引後訂正 切 登録 点検 計算 / 設定

#/時刻 /小計 **9** **⊗** **0** **0** **1** **1** **1** **1** **0** **1** #/時刻 /小計 現/預/借

印字形式の設定 (4) の開始
 固定：常に“0”


レシートに内税課税小計を印字		レシートに内税額を印字		レシートに内税記号を印字	
する	1	する	1	する	1
しない	0	しない	0	しない	0

●電子ジャーナルの設定

電子ジャーナルをメモリーに保存しきれなくなったとき(メモリーフル時)の動作を設定します。

例 メモリーフル時の動作を“警告のみ”に設定するとき

* 設定 *
 #13 1


 取引後訂正 切 登録 点検 計算 / 設定

#/時刻 /小計 **1** **3** **⊗** **1** #/時刻 /小計 現/預/借

電子ジャーナルの設定の開始

メモリーフル時の動作	
ロックする	2
警告のみ	1
継続する	0

MEMO メモリーに保存しきれなくなったとき(メモリーフル時)の動作の動作については、「営業記録の確認(電子ジャーナル)」(※14ページ)をごらんください。

■ スリープモードの設定

スリープモードに入る時間を設定します。また、表示部で時刻を表示中はスリープモードに入らないようにすることができます。

例 操作しない状態が15分間続くとスリープモードに入る（時刻表示中も入る）ように設定するとき

* 設定 *
#10 0015

時刻表示中のスリープモード	
入らない	1
入る	0

スリープモードの設定の開始 スリープモードに入るまでの時間(分): 初期値30分(001~254分)

■ プリント印字濃度の設定

プリンタの印字濃度が設定できます。

例 印字濃度を少し薄め（設定値30）に設定するとき

* 設定 *
#50 30

印字濃度の設定の開始 印字濃度: 初期値50(00~99)

<濃度の目安>

00 = 標準の75%の濃度
 50 = 標準の濃度
 99 = 標準の125%の濃度

MEMO 印字濃度の設定確認をおこなうと、現在の設定値と印字濃度10~90の印字見本がごらんになれます（※26ページ）。

■ 日計全項目精算の設定

全項目精算時、SDメモリーカードに設定や売上の全データを自動的にバックアップ（データ保存）するように設定できます。

例 全項目精算時に全データを自動バックアップし、電子ジャーナルをクリアしないに設定するとき

* 設定 *
#14 100

日計全項目精算の設定の開始

全データ自動書込み		売上データ自動書込み	
する	1	する	1
しない	0	しない	0

電子ジャーナルの動作	
SD書込みと発行とクリア	3
SD書込みとクリア	2
発行とクリア	1
クリアしない	0

MEMO ●自動バックアップをする設定にしたときは、精算前にSDメモリーカードをSDスロットへ挿入しておいてください。（※27ページ）。

●「電子ジャーナルの動作」で選択した内容によって、レジスタ内の電子ジャーナルの動作は次のようになります。

電子ジャーナルの動作	電子ジャーナルレポート発行	SDカードへの電子ジャーナルデータの書込み	レジスタ内の電子ジャーナルデータのクリア
クリアしない	しない	しない	しない
発行とクリア	発行する	しない	クリアする
SD書込みとクリア	しない	書込みする	クリアする
SD書込みと発行とクリア	発行する	書込みする	クリアする

消費税の設定について

登録 点検
切 精算/設定
取引後訂正


機能切りかえスイッチの位置を【精算/設定】にします。

● お店に合わせて消費税を設定(変更)するには

ご購入時(または初期化操作後)、消費税は次のように設定されています。

- 消費税率：消費税1：10%、消費税2：8%
- 課税方法：すべての部門に対して内税課税
- 内税の端数処理：1円未満を切り捨て



●消費税率10%の内税商品のみ扱うお店⇒そのまま使えます

ご購入時(または初期化操作後)は、 (部門1～部門8)のすべての部門に消費税1(10%)の内税が設定されています。

●消費税率8%の商品を扱うお店⇒設定を変更してください。

消費税率8%の商品を登録する部門を決めて、「部門キーの設定」(P.15ページ)で部門ごとに消費税の種類を設定して下さい。




設定例)

 (部門1～4)：消費税1(10%)…設定変更なし
 (部門5～8)：消費税2(8%)…消費税2に設定変更

●非課税商品または外税商品があるお店⇒設定を変更してください

非課税商品または外税商品を登録する部門を決めて、「部門キーの設定」(P.15ページ)で部門ごとに課税方法を設定してください。必要に応じ、消費税の種類を設定してください。

設定例)

 (部門1～4)：内税商品の登録に使う部門…設定変更なし
 (部門5～7)：外税商品の登録に使う部門…外税に設定変更
 (部門8)：非課税商品の登録に使う部門…非課税に設定変更

●消費税の端数処理の設定について

消費税額の1円未満の端数処理は、ご購入時(または初期化操作後)、外税、内税共に切り捨てに設定されていますが、それぞれの端数処理を変更することができます。(P.24ページ)

●ご購入時すでに消費税の税率が変わっているときは

⇒すぐに消費税を変更してください

ご購入時(または初期化操作後)、消費税1は10%、消費税2は8%に、免税点は0円に設定されています。

レジスタを最初に使われるときに、すでに税率が変更されているときは、「消費税の税率および免税点の設定」(P.24ページ)で設定を変更してください。

●これから消費税が変更になるときは

⇒消費税の自動変更予約をすることができます

このレジスタは、消費税の自動変更予約機能を備えています。これから税制が変わるときは、新税施行日より以前に税率や変更日を設定しておく、変更日に自動的に設定を変更します。消費税の自動変更予約機能を使用するときは、「消費税の自動変更予約機能を使う」(P.24ページ)を参照してください。

消費税の端数処理の設定

消費税額の1円未満の端数について、切り上げ、切り捨て、四捨五入の処理が選択できます。

例 内税の1円未満を四捨五入、外税の1円未満を切り捨てに設定するとき

内税の端数処理		外税の端数処理	
切り捨て	2	切り捨て	2
切り上げ	1	切り上げ	1
四捨五入	0	四捨五入	0

* 設定 *
#19 0000020

登録 点検
切 取引後訂正

端数処理設定の開始

固定：常に“00000”

注意 税率更新のタイミングは、「消費税の自動変更予約機能」(※24ページ)を使うときの機能です。通常の設定では0を入力してください。

税率更新のタイミング*	
設定更新日以降に日計全項目精算をおこなった後	1
設定更新日以降に任意のキーを押したとき	0

※税率更新のタイミングについては、「税率更新のタイミングの設定」(※25ページ)を参照してください。

消費税の税率および免税点の設定

このレジスタは、消費税1と消費税2で税率を分けて設定できるようになっています。また、消費税1と消費税2それぞれに免税点も設定できます。ご購入時(または初期化操作後)は、消費税1に10%、消費税2に8%の消費税で免税点0円がすでに設定されています。すでに税制が変わっているときは、ここでの設定を変更してから使いはじめてください。

例 消費税1を10%、免税点を0円に設定するとき

消費税1	1	変更用消費税1	3
消費税2	2	変更用消費税2	4

1 0 00 00 ⊗ 0 の代わりに訂正を押すと、消費税を禁止(使用しない)にします。

* 設定 *
消費税 10.0000%

消費税率 免税点

登録 点検
切 取引後訂正

消費税率・免税点の設定の開始

免税点(0円~99,999円)：初期値0円
最大99,999円まで設定できます。
0円のときは省略できます。

消費税1/消費税2を入力した場合：
消費税率：初期値 消費税1=10%、消費税2=8%(0.0000%~99.9999%)
変更用消費税1/変更用消費税2を入力した場合：
更新税率：初期値 禁止(0.0000%~99.9999%)

※消費税率、および更新税率は小数点なしの5桁で入力します。

消費税の自動変更予約機能を使う

注意 すでに消費税率等が変わっている場合は、この機能は使えません。上の「消費税の税率および免税点の設定」を使って設定してください。

消費税が改正される場合、更新日と新しい税率、免税点をまもって設定しておくこと、指定した更新日に自動的に税率と免税点を更新することができます(消費税の自動変更予約機能)。

消費税の自動変更予約機能の設定は、必ず、次の順番でおこなってください。

- (1) 更新年月日を設定します。
- (2) 更新タイミングを設定します。
- (3) 更新用消費税1および更新用消費税2に、新しい税率と免税点を設定します。

消費税の自動変更予約機能を設定すると

新税率施行日に自動変更機能がはたらき、次のように消費税設定が自動的に更新されます。

- 消費税1が、更新用消費税1に設定されていた新税率および免税点になります。
- 消費税2が、更新用消費税2に設定されていた新税率および免税点になります。
- 税率更新の確認用レシートが発行されます。

税率更新の確認用レシート例

税率を変更しました。	
消費税 1H	12.0000%
消費税 2H	8.0000%

- 更新タイミングは初期設定(更新日に任意のキーを押したときに更新)になります。
- 更新日付はクリアされて、0000年00月00日になります。
- 更新用消費税1の設定はクリアされて、“禁止”になります。
- 更新用消費税2の設定はクリアされて、“禁止”になります。

(1) 更新日の設定

例 消費税率および免税点を2025年10月1日に更新するに設定するとき

更新年月日：初期値0000年00月00日(自動変更予約なし)

* 設定 * #18 2025年10月01日

消費税更新日の設定の開始 年(西暦4桁) 月 日

1 8 ⊗ 2 0 2 5 1 0 0 1

#/時刻/小計 現預借

MEMO 更新日を設定したときは、必ず新しい税率と免税点を更新用消費税1および更新用消費税2に正しく設定してください。更新用消費税1および2に税率と免税点の設定をしないまま更新日になると、消費税1および消費税2の税率が“禁止”に書き換えられてしまいます。

(2) 税率更新のタイミングの設定

消費税が改正される時、更新のタイミングをお店に合わせて次の2種類から選択できます。

- ① 指定した更新日以降に任意のキーを押したときに更新する(ご購入時の設定)。
 - ② 指定した更新日以降に日計全項目精算をおこなった後で更新する。
- ご購入時の設定のままであれば、この設定を変更する必要はありません。

ご注意 税率更新のタイミングを「① 設定更新日以降に任意のキーを押したとき」に設定する場合、更新日の前日中に登録した取引と登録中に更新日になった取引には、更新前の税率が適用されます。

税率更新のタイミングの設定の方法は、「消費税の端数処理の設定」(P24ページ)を参照してください。

(3) 更新する税率と免税点の設定

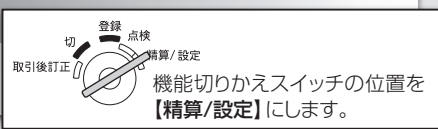
消費税1を更新するときは、更新用消費税1に、新しい税率と免税点を設定します。

消費税2を更新するときは、更新用消費税2に、新しい税率と免税点を設定します。

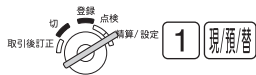
ご注意 消費税の自動変更予約機能を実行するときは、更新用消費税1と更新用消費税2の両方を必ず設定してください。更新用消費税1と更新用消費税2は、更新日に同時に更新されますので、ご注意ください。たとえば、消費税2に変更があり、消費税1に変更がない場合でも、更新用消費税1に現在の消費税1と同じ設定をしておかないと、更新日に消費税1の設定が消えてしまいます。

更新する税率と免税点の設定の方法は、「消費税の税率および免税点の設定」(P24ページ)を参照してください。

設定内容の確認



●おもな設定の確認



印字例

* 設定 *	部門番号
部1	0
部門1	01
部2	0
部門2	01
部3	0
部門3	01
部4	0
部門4	01
部門8	01
F01 (-)	機能番号/機能名
F02 %	値引額
F03 **売上計	0% 割引率/割増率
F04 外税小計	消費税の設定
F05 外税 10%	
F06 内税小計	
F07 (内税 10%)	
F08 外2小計	
F09 外税 2 8%	
F10 内2小計	
F11 (内税 2 8%)	
F12 消費税計	
F13 非課税計	
F14 **純計	
F15 売上点数	
F16 **総合計	
F17 平均単価	
F18 訂正	
F19 取引後訂正	
F20 取消	
F21 入金	
F22 支払	
F23 現金	
F24 信用	
F25 券	
F26 領収証	
F27 印紙領収	
F28 両替	
F29 取引数	
F30 現金在高	
F31 券在高	
F32 信用在高	
F33 借/券 約	
F34 *部門計	
F35 一部部門計	

F36 数	
F37 **小計	
F38 **合計	
F39 おつり	
F40 個数	
F41 個	
F42 取引後訂正	
F43 コピー	
F44 領収証控	
F45 部 門	
F46 取 引	
F47 電子ジャーナル	
F48 記録終了	
* コーシャルメッセージ *	
あなたの御来店を お待ちしております ありがとうございます	— コーシャルメッセージ
* 店名ロゴ *	
お買上票	— 店名ロゴ
毎度ありがとうございます	
* 領収証ロゴ *	
#6 11000001	— 印字形式の設定 (1)
#7 10001000	— 印字形式の設定 (2)
#8 00000000	— 印字形式の設定 (3)
#9 00111111	— 印字形式の設定 (4)
#10 0030	
#11 4	
#12 0	— 電子ジャーナルの設定
#13 000	
#14 0000	— 日計全項目精算の設定
#15 50.000	— 領収証一連番号の設定
#16 0000年00月00日	— 収入印紙の貼付最小額
#17 00000220	
#18 99	— プリント印字濃度の設定
#19 10.0000%	— 消費税 1・税率/免税点
#20 8.0000%	
#21 0	
#22 -----	— 変更用消費税 1・税率/免税点
#23 -----	

●印字濃度設定の確認



印字例

* 設定 *	50	現在の印字濃度設定
#50		
10 : 0123456789AB		
20 : 0123456789AB		
30 : 0123456789AB		
40 : 0123456789AB		
50 : 0123456789AB		— 印字濃度の見本
60 : 0123456789AB		
70 : 0123456789AB		
80 : 0123456789AB		
90 : 0123456789AB		

標準印字濃度

SDメモリーカードでできること

カスタマサポートツールを使用して設定データを、また、SDメモリーカード(市販品)で売上データや設定データをやり取りし、パソコンで管理することができます。また、SDメモリーカードを使用すると、レジスタのデータをバックアップしておくことができます。データのやり取りにはパソコン側にSDカードリーダーが必要です。

MEMO 本製品では、SDHCメモリーカードを使用できます。本書では「SDメモリーカード」と記載しています。

使用できるSDメモリーカード

SDHCメモリーカードは4GB~32GBのSDHCメモリーカードが使用可能です。レジスタで初期化(※下記)してから使用してください。SDメモリーカードについては、当社基準において、市販品のSDHCメモリーカード(4GB、8GB、16GBおよび32GB)の動作確認をおこなっております。ただし、動作確認をしたすべてのSDメモリーカードについて、動作保証するものではありません。動作確認状況については、シャープサポートページ(<https://jp.sharp/support/ecr/>)をご確認ください。なお、miniSDメモリーカード、microSDメモリーカードは使えません。

- ご注意**
- 本製品で使用できるSDメモリーカードのフォーマットは、FAT32(もしくはFAT)です。なお、「初期化」ではSDメモリーカード内のファイルを初期化するだけであり、ファイルシステムのフォーマット変更はおこないません。他のフォーマットでご使用されていたSDメモリーカードをお使いになるときは、あらかじめパソコンなどでFAT32(もしくはFAT)でフォーマットしてご使用ください。
 - SDメモリーカードの取扱いについては、SDメモリーカードに付属の説明書をよくお読みください。
 - SDメモリーカードの保存内容は、事故や故障によって消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害については、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - SDメモリーカードにアクセスしている間は、カードにふれたり、カードを抜いたりしないでください。データが破損する恐れがあります。
 - SDメモリーカードにアクセスしている間は、電源を切らないでください。データが破損したり、SDメモリーカードが使えなくなる恐れがあります。

SDメモリーカードの入れかた・取り出しかた

SDカードスロットはレジスタ右側面のカバー内部にあります。SDメモリーカードを出し入れするときは、カバーを外してください。

入れかた

SDロゴが印刷されている面を上にしてSDメモリーカードをSDカードスロットに差し込み、指でカチッと確実に入るまで押し込んでゆっくり指を離します。

取り出しかた

スロットに入っているSDメモリーカードを軽く指で押し込み、指を離すとSDメモリーカードが排出されます。

- ご注意**
- SDメモリーカードを入れるとき・取り出すときは、すぐに指を離さないでください。急に指を離すとカードが飛び出しけがの原因となることがあります。
 - SDメモリーカードをSDカードスロットに入れている状態で停電になったり、電源プラグを抜いた場合、カードのデータが破損する恐れがあります。
 - SDカードスロットを使用しないときは、カバーを取り付けてください。

SDメモリーカードの初期化

新しくSDメモリーカードを購入したときや、すでにお持ちのSDメモリーカードを初めてレジスタで使用するとき、SDメモリーカードに記憶されている内容をすべて消去してしまいたいときは、レジスタでSDメモリーカードを初期化します。

- ご注意**
- SDメモリーカードは購入時に初期化の作業が必要ですが、その後は何度も初期化する必要はありません。データが保存されているSDメモリーカードを初期化すると、カードの保存されているフォルダおよびデータはすべて消去されてしまいます。
 - 2台目以降のレジスタで同じSDメモリーカードを使用する場合は、初期化の必要はありません。

機能切りかえスイッチを【精算/設定】の位置に合わせる。

初期化するSDメモリーカードをレジスタのSDカードスロットへ装着する。

※**1** **4** **0** **⊗** ※**1** **4** **0** **⊗** の順にキーを押す。

初期化を開始すると、表示部に「Sd CArd」と表示され、「。」が点滅します。

点滅

Sd CArd!

(次のページにつづく)

初期化が終了すると、「カードの初期化完了しました」を印字し、表示部は「0」に戻ります。

* 設定 *
#140 カードの初期化
完了しました

MEMO 使用するSDメモリーカードによって初期化が終了するまでに時間がかかる場合があります。

各種データの書き込み・読み込み

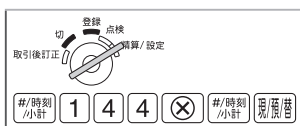
各データの書き込みや読み込みは、機能切りかえスイッチの【精算/設定】位置でおこないます。データの書き込みや読み込み等などで、SDメモリーカードにアクセスしているときは、表示部に「Sd CArd.」と表示され、「.」が点滅します。

書き込みや読み込みが終了すると、点滅表示が消えて作業内容が印字されます。

ご注意 SDメモリーカードへのアクセス中は、カードにふれたり、カードを抜いたりしないでください。SDカードスロットやカードのデータが破損するおそれがあります。

●全データのバックアップ(レジスタ⇒SDメモリーカード)

レジスタの設定内容や売上内容のデータをSDメモリーカードに書き込んでバックアップをとることができます。バックアップをとっておくと初期状態に戻ってしまったときなどに、バックアップをとった時点の状態まで、設定内容や売上内容のデータを元に戻すことができます。



「日計全項目精算」の実行時に自動的にSDメモリーカードへのバックアップが働くように設定できます。設定方法は「日計全項目精算の設定」(P.22ページ)を参照してください。

ご注意 SDメモリーカードにデータをバックアップする場合、同じ種類のデータがSDメモリーカードにあるときは、以前のデータは消去され、新しいデータが書き込まれます。上書きしたくない場合は、他のSDメモリーカードにバックアップをしてください。

●バックアップデータの復元(SDメモリーカード⇒レジスタ)

バックアップしたデータをレジスタのメモリーに戻す(バックアップの復元)ことができます。



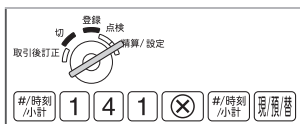
ご注意

- バックアップデータの復元では、すべての設定内容(日付・時刻を除く)や売上内容がバックアップをとった時点の状態に戻ります。復元の操作は慎重におこなってください。
- SDメモリーカードにアクセスしている間は、電源を切らないでください。
- アクセスしている間に電源が切れた場合、バックアップデータが正しく復元できていないため、本製品が正しく動作しないことがあります。必ず、製品の初期化をおこなってから、もう一度全データの読み込みをおこなってください。
- 初期化の操作はクイックスタートガイドの「最初にお読みください」をごらんください。
- 全データの読み込み後は、プログラムリセット(P.34ページ)をおこなってください。

●設定データの書き込み・読み込み

SDメモリーカードへの書き込み操作

パソコン上で設定を変更するために、レジスタ上の設定データをSDメモリーカードへ書き込む操作です。



SDメモリーカードからの読み込み操作

パソコン上で変更してSDメモリーカードに書き込んだ設定データを、レジスタ上に読み込む操作です。パソコンで作成、または作成依頼したグラフィック店名ロゴや領収証ロゴのデータを、レジスタの設定に読み込むには、この操作をおこないます。



ご注意 SDメモリーカードを使って読み書きできる設定データは、部門設定、機能テキスト、店名ロゴ、領収証ロゴ、コマースシャルメッセージ、消費税設定です。それ以外の設定データは読み書きできません。

●売上データの書き込み

パソコン上に売上データを取り込むために、レジスタの売上データをSDメモリーカードへ書き込む操作です。書き込みをする時点の一日の全売上データと期間集計のデータすべてがSDメモリーカードに書き込まれます。1枚のSDメモリーカードには、最大400件の売上データを保存することができます。

「日計全項目精算」の実行時に自動的にSDメモリーカードへのバックアップが働くように設定できます。設定方法は「日計全項目精算の設定」(P22ページ)を参照してください。



●売上データを書き込むごとにフォルダが自動作成されます。フォルダ名には「年月日」+「連番」が自動的に付けられます。

●1日に10回以上の売上データの書き込みはできません。



●電子ジャーナルの書き込みとクリア

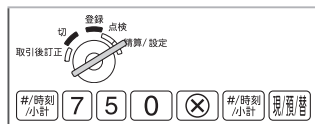
レジスタの電子ジャーナルデータをSDメモリーカードに書き込み、レジスタ内の電子ジャーナルデータをクリアします。1枚のSDメモリーカードには、最大400件の電子ジャーナルデータを保存することができます。

「日計全項目精算」の実行時に自動的にSDメモリーカードへのバックアップが働くように設定できます。設定方法は「日計全項目精算の設定」(P22ページ)を参照してください。



●電子ジャーナルデータを書き込むごとに、フォルダが自動的に作られます。フォルダ名は、「年月日」と「連番」が自動的に付けられます。

●1日に10回以上の電子ジャーナルの書き込みはできません。



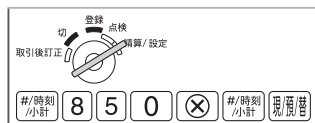
●電子ジャーナルの印字出力

「電子ジャーナルの書き込みとクリア」でSDメモリーカードに保存した電子ジャーナルデータのうち、パソコンを使って選択した1つのデータをレジスタのプリンタに印字します。(あらかじめパソコンでSDメモリーカードを使った操作が必要です。P22下記「売上データおよび設定データのパソコン管理について」)



●電子ジャーナルの出力途中で印字を止めたいときは、**強制解除**を押します。

「」を15個連続で印字して止まります。



POINT! 売上データおよび設定データのパソコン管理について

- SDメモリーカードに書き込みされた「売上データ」と「電子ジャーナルデータ」は、カスタマサポートツールを使用しないで、パソコン装備のアプリケーションソフト(EXCEL、メモ帳など)でデータ管理ができます。(カスタマサポートツールでは対応できません。)
 - ・「売上データ」は「SALES」フォルダの下に、書き込みごとに作成された年(2桁)月(2桁)日(2桁)-N(連番)のフォルダに、次の名前で作成されています。
 - DEPTX1.CSV: 部門日計 DEPTX2.CSV: 部門期間計1
 - TRANSX1.CSV: 取引日計 TRANSX2.CSV: 取引期間計1
 - ・「電子ジャーナルデータ」は「EJ」フォルダの下に、書き込みごとに作成された年(2桁)月(2桁)日(2桁)-N(連番)のフォルダに、ファイル名: EJFILE.TXTでファイル保存されています。
- 電子ジャーナルの印字出力をするときは、印字したいフォルダのEJFILE.TXTを「EJPRINT」フォルダにコピーしてください。
- SDカードに書き込みされた「設定データ」は、カスタマサポートツールを使用して、データ編集・管理ができます。(カスタマサポートツールなしでは対応できません。)

使用方法は、カスタマサポートツールの「取扱説明書」をごらんください。

カスタマサポートツールおよびカスタマサポートツールの「取扱説明書」は、以下のWEBページからダウンロードできます。ダウンロード後のインストール方法についても、以下のWEBページをご参照ください。
https://jp.sharp/support/ecr/cst_dl_info.html

ロール紙の補充とプリンタの取り扱いについて

消耗品について

XE-A147には、次の消耗品が用意されています。このレジスタをお買い上げいただいた販売店でお買い求めください。

品名	品番	外径	備考
ロール紙	RL130T(5巻/1パック)	80mm	紙質：上質感熱紙 紙幅：57.5±0.5mm
	RL140T(5巻/1パック)	70mm	
ロール紙(高保存タイプ)	RL131T(5巻/1パック)	80mm	
	RL141T(5巻/1パック)	70mm	

ロール紙についてのご注意

ロール紙は必ず当社推奨のものをご使用ください。
推奨以外のロール紙をご使用になりますと、紙づまりを起こすなど、故障の原因となります。



推奨ロール紙

紙質：上質感熱紙
紙幅：57.5±0.5mm
外径：最大80mm
紙厚：0.06～0.08mm
用紙重量：52.3～64.0g/m² (44～55kg/1000枚/788×1091mm)

- ロール紙はご使用時まで、開封しないでください。
- ロール紙の取り扱いには充分ご注意ください。常温(20℃)、常湿(60%)の冷暗所で箱に入れて保管することをお勧めします。また、印字されたものをノートなどに貼り付ける際は、余白(印字されていない部分)に糊付けをしてください。
- 次のような場所での保管や取り扱い、お避けください。紙の表面や印字された文字が変色したり退色することがあります。
 - ・ 湿気が多い場所(気温40℃、相対湿度80%以上)
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 60℃以上の高温になる場所(ストーブ/ヒーター/火のついたタバコなどの熱源のそばや自動車の車内など)
- 次のような行為は避けてください。紙の表面や印字された文字が変色したり退色することがあります。
 - ・ 紙の表面を爪、筆記用具、金属などで擦ったり、ロール紙を落したり、ぶつけたりして表面を傷つける行為
 - ・ ロール紙を雨や水と接触させたり、汗ばんだ手で触れるなどの行為
- 次のような事務用品や可塑剤・有機溶剤また、皮製品との接触は避けてください。紙の表面や印字された文字が変色したり退色することがあります。
 - ・ 蛍光ペン、マーカーペン、メンディングテープ、セロハンテープなどのテープ類、接着剤、スタンプ類、朱肉印、ジアゾコピー(青焼き紙)、消しゴム
 - ・ ボンド、シンナー、アルコール、ベンジン、整髪料、油脂、ハンドクリーム、塩化ビニル製フィルム/袋/ラップなど、皮製品

■ ロール紙の交換のしかた

ロール紙の赤い部分が出てきたときは、ロール紙が残り少なくなっています。お早めに新しいロール紙に交換してください。交換の前に「ロール紙についてのご注意」を必ずお読みください。(※30ページ)

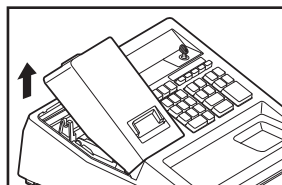
ご注意

- プリンタにロール紙が取り付けられていなかったり、紙切れになったときは、表示部に“PAPeREnd”とエラー表示されて使用できなくなります。そのような場合は、ロール紙を取り付けてから、**[切]**を押してエラー解除してください。(プリンタエラー記号“=====”が印字されます。)
- ロール紙をセットする際、テープ(または糊)の接着していた部分は切り捨ててください。巻き始めのテープ止め(または糊止め)部分には正しく印字されません。

● ロール紙の取り出しかた

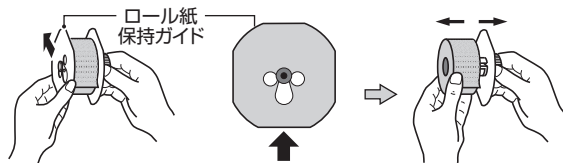
機能切りかえスイッチを**[登録]**の位置に合わせる。

プリンタカバーを取り外す。

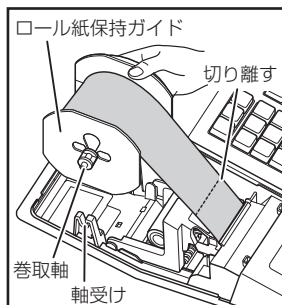


記録紙として使っているときは記録紙を取り外す。

- **[紙送り]**を押して記録紙を数行送ってから、ロール紙を切り離し、巻取軸を軸受けから取り外します。
- 巻取軸からロール紙保持ガイドを取り外し、記録紙を外します。



この部分を矢印の方向に押して、巻取軸おさえを外します。

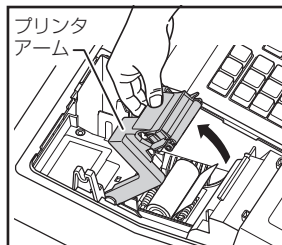


ご注意

- **[紙送り]**を押さずに、ロール紙を無理に引っ張らないでください。プリンタヘッドが損傷する原因となります。
- ロール紙保持ガイドを取り外すときは、ロール紙保持ガイドを巻取軸に対して垂直方向にまっすぐ動かしてください。このとき、動かす方向がずれると、ロール紙保持ガイドに無理な力が加わり、ロール紙保持ガイドが破損する場合があります。

プリンタアームに手をそえて図の位置まで上げる。


残っているロール紙を取り除く。



● ロール紙の取り付けかた

ロール紙の取り付けかたについては、クイックスタートガイドの「最初にお読みください」を参照してください。(記録紙としてお使いのときは、巻取軸から記録紙とロール紙保持ガイドを取り外してからクイックスタートガイドを参照してください。)

紙づまりのときは

ロール紙が紙づまりを起こし、を押しても送られなくなったときは、次の方法で取り除いてください。

機能切りかえスイッチを【切】の位置に合わせる。

プリンタカバーを取り外す。

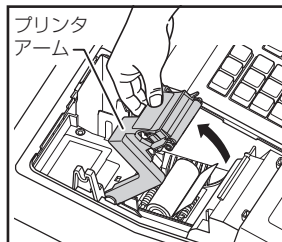
巻取軸にロール紙を巻き取っているときは、先にロール紙と切り離してから、プリンタアームに手をそえて図の位置まで上げる。

ロール紙を外して、残った紙を取り除く。

切れ端などが残らないように注意してください。

機能切りかえスイッチを【登録】の位置に合わせる。

「ロール紙の取り付けかた」(📖 クイックスタートガイドの「最初にお読みください」)にしたがって、ロール紙を取り付ける。



プリンタヘッドのお手入れのしかた

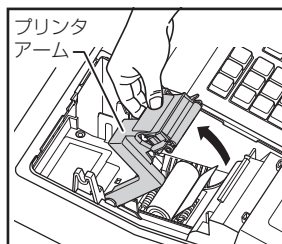
印字文字がかすれたり、黒ずんだりするときは、ほこりなどがプリンタヘッドに付着している可能性があります。このようなときは、乾いた柔らかい布でプリンタヘッドを軽く拭いてください。付着したほこりが簡単にとれないときなど、必要に応じてアルコールを含ませた綿棒や柔らかい布などで軽く拭いてください。

- ご注意**
- 作動中または作動終了直後は、プリンタヘッドおよびその周辺とモーター表面は高温になっていますので、お手入れはプリンタヘッドが十分に冷えてからおこなってください。
 - プリンタヘッドに直接手で触れたり、工具やその他の固いものなどを近づけないでください。プリンタヘッドが損傷する原因となります。

機能切りかえスイッチを【切】に合わせる。

プリンタカバーを取り外す。

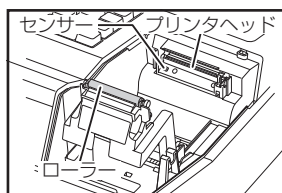
巻取軸にロール紙を巻き取っているときは、先にロール紙と切り離してから、プリンタアームに手をそえて図の位置まで上げる。



ロール紙を取り外す。

プリンタヘッド、ローラー、センサーを柔らかい布などで軽く拭く。

「ロール紙の取り付けかた」(📖 クイックスタートガイドの「最初にお読みください」)にしたがって、ロール紙を取り付ける。



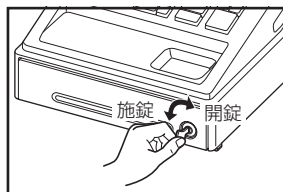
引出し(ドロア)の取扱いについて

引出し(ドロア)の施錠と開錠のしかた

長時間で使用にならないときは、引出し(ドロア)錠を施錠するように心がけてください。

付属の機能切りかえ鍵(引出し鍵としても使います)を本体前部の鍵穴に挿入し、左方向に90度回すと施錠されます。

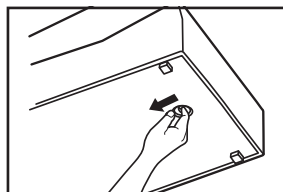
開錠するときは右方向に90度回してください。



引出しの開けかた(停電時など)

通常の登録時には、引出しは自動的に開きますが、停電時や万一故障したときなどは、引出し底面の穴の中にあるレバーを矢印方向に引いてください。

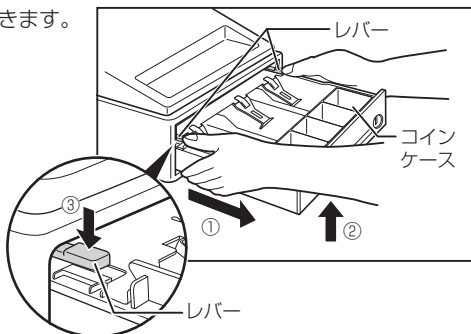
ただし、引出し(ドロア)を施錠しているときは開きません。



引出し(ドロア)の外しかた

次の手順で引出し(ドロア)を取り外すことができます。

- ①引出し(ドロア)を手前側に止まるまで引っぱりだします。
- ②引出し(ドロア)の手前を上を持ち上げて、少しだけ手前に引っぱります。
- ③引出し(ドロア)の両端のレバーを押し、引出し(ドロア)を上を持ち上げながら引き抜きます。



コインケースは取り外しできます。一日の終わりにには引出しの中に現金を残さないように心がけてください。

ご注意

引出し(ドロア)を外すときはコインケースを取り外し、引出し(ドロア)の中に現金を残さないようにして両手で引出し(ドロア)をしっかり持ってください。誤って落とすとけがの原因になることがあります。

困ったときは

停電のときは

営業時間中停電になったり、コンセントが抜けたりしても、レジスタに乾電池が入っていて「L」が点灯していなければ登録した内容は記憶されています。停電回復後、続けて操作してください。

印字中に停電になったときは

その部分の印字は正確でないときがあります。停電回復後に“===== ”を印字したあと、正しい印字がおこなわれます。

プログラムリセット

設定データや売上データなど、記憶内容を保持したままでレジスタを初期状態に戻す場合は、このプログラムリセットをおこないます。(操作方法：リセットボタン(※1 ページ)を押す。)

ご注意 プログラムリセットはレジスタに乾電池を入れた状態でおこなってください。乾電池が入っていない状態でこの操作をおこなうと、設定データや売り上げデータが消えてしまいます。

付属品を破損/紛失されたときは

付属品(鍵やロール紙保持ガイドなど)のご購入は、**お買い上げの販売店**、または、**弊社カスタマーセンター(下記)**にお問い合わせください。

乾電池の交換

表示部に「L」や「L」（または「L」（オプションバッテリー装着時のみ））が表示されたときは、新しい単3形アルカリ乾電池と交換してください。乾電池の寿命は約1年間です。たとえ「L」や「L」が表示されなくても、少なくとも1年に1回は新しい乾電池と交換してください。

乾電池の交換方法については、**クイックスタートガイドの「最初にお読みください」**を参照してください。

- ご注意**
- 乾電池の“+”と“-”の向きを表示通りに正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。交換するときは3本とも一度に交換してください。
 - 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 消耗した電池をそのままにしておかないでください。液もれにより製品を傷めることがあります。
 - 乾電池を火中に投入しないでください。破裂する恐れがあり非常に危険です。
 - 電池には、充電式のものと同充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見て、充電式でないものをご使用ください。
 - 使用済みの乾電池は、各自治体で定められた方法で処分してください。

ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店**、または**下記窓口**にお問い合わせください。電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。



よくあるご質問など【シャープサポートページ】

<https://jp.sharp/support/ecr/>

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。



使用方法のご相談など【レジスタ相談窓口】

0570-002-023

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間 ●月曜～土曜：9:00～18:00
(日曜・祝日および年末年始を除く)

■IP電話をご利用の場合は…

電話	06-7634-4095	FAX	06-6794-9675
----	--------------	-----	--------------

■電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。



修理のご相談など【カスタマーセンター】

(沖縄地区を除く)

0570-005-008

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間 ●月曜～土曜：9:00～17:40
(日曜・祝日および年末年始を除く)

■IP電話をご利用(沖縄地区を除く)の場合は…

電話	06-6794-9676
----	--------------

■沖縄地区の方は…

沖縄地区	「那覇サービスセンター」 098-861-0866 (月～金 9:00～17:00)
------	---

■電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。

故障かなと思ったら

次のような場合は故障ではないことがあります。修理を依頼される前にもう一度お調べください。

機能切りかえスイッチを【切】以外のどの位置に回しても、表示部が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コンセントまで電源が来ていますか？ ●ACアダプターがコンセントから抜けたり、ゆるんだりしていませんか？
表示部が点灯しても登録できない	<ul style="list-style-type: none"> ●機能切りかえスイッチは【登録】の位置に正しく合わせていますか？
レシートが発行されない	<ul style="list-style-type: none"> ●レシートの発行が“停止状態”になっていませんか？(※6ページ) ●紙づまりを起こしていませんか？(※32ページ) ●ロール紙の残量は十分ですか？(※31ページ) ●プリンターアームが確実に閉じていますか？(※クイックスタートガイド)
ロール紙を巻き取らない	<ul style="list-style-type: none"> ●巻取軸は正しく軸受けに設置されていますか？ ●紙づまりを起こしていませんか？ ロール紙を切り離してから、もう一度ロール紙を入れなおしてください(※31ページ)。 ●印字形式を「レシート」に設定していませんか？ 「レシート」では巻き取りません。「営業記録」に設定を変えてください(※19ページ)。
印字が正常でない	<ul style="list-style-type: none"> ●ロール紙は正しくセットされていますか？(※クイックスタートガイド) ●ロール紙は当社推奨のものを使っていますか？(※30ページ) ●プリンタヘッド部にごみ等が付着していませんか？(※32ページ) ●プリンタの印字濃度の設定を薄くしていませんか？(※22ページ) ●プリンターアームが確実に閉じてないと、正常に印字されないことがあります。そのような場合は、プリンターアームを閉めなおしてください。(※クイックスタートガイド)
部門キーを押しても登録できない	<ul style="list-style-type: none"> ●打ち込んだ金額が8桁以上になっていませんか？
印字が中断する	<ul style="list-style-type: none"> ●連続して長い行数を印字すると、途中で数秒間印字が止まる場合があります。印字停止中は“---”を表示し、その後、印字を再開します。(※14ページ)。
印字中に“ピーピーピー”と警告音が鳴り続ける	<ul style="list-style-type: none"> ●印字中、高温になるなどしてプリンタ異常が起きています。電源プラグをコンセントから抜き、1～2分待ってから電源プラグをさしなおしてください。表示部の全桁に“-”が表示されますので、[7]を押してください。残りの印字を再開します。
表示部の左端に“L”または“L”を表示したまま動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●オプションバッテリー切れです。(オプションバッテリー使用時のみ表示します。)すぐにACアダプターを取り付けて、コンセントに差し込んでください。使用后、バッテリーの充電をしてください。(充電方法は、オプションバッテリーに同梱の取付説明書をごらんください。)

語句コード表

業種	番号	品名	業種	番号	品名	業種	番号	品名	業種	番号	品名		
その他	001	その他	書籍・文具・CD	051	DVD	喫茶・軽食	100	新メニュー	薬局・薬店	151	健康器具		
食料品	002	食料品		052	アルバム		101	定食		152	健康食品	152	健康食品
	003	飲料		053	ブルーレイ		102	一品料理		153	漢方薬	154	婦人薬
	004	加工食品		054	物品販売		103	ビール		154	小児用薬	155	外用薬
	005	生鮮		055	日用品		104	お通し		155	外用薬	156	外用薬
	006	鮮魚		056	家庭用品		105	着付		156	外用薬	157	内服薬
	007	精肉		057	レンタル用品		106	カット		157	内服薬	158	かぜ薬
	008	お惣菜		058	ペット用品		107	パーマ		158	かぜ薬	159	解熱鎮痛剤
	009	お米		059	キッチン用品		108	シャンプー		159	解熱鎮痛剤	160	せき止め
	010	果物		060	カー用品		109	ヘアカラー		160	せき止め	161	整腸剤
	011	野菜	061	スポーツ用品	110	カラー	161	整腸剤	162	胃腸薬			
	012	麺類	062	寝具	111	プロウ	162	胃腸薬	163	栄養剤			
	013	乳製品	063	玩具	112	セット	163	栄養剤	164	サプリメント			
	014	菓子	064	家具	113	トリートメント	164	サプリメント	165	酔い止め			
	015	和菓子	065	輸入家具	114	メイク	165	酔い止め	166	アレルギー薬			
	016	洋菓子	066	楽器	115	トリミング	166	アレルギー薬	167	皮膚治療薬			
	017	パン	067	DIY用品	116	フェイス	167	皮膚治療薬	168	鼻炎薬			
	018	食パン	068	園芸用品	117	ボディ	168	鼻炎薬	169	外傷薬			
	019	調理パン	069	種苗	118	スキンケア	169	外傷薬	170	虫さされ			
	020	菓子パン	070	肥料	119	ベビー	170	虫さされ	171	湿布薬			
	021	サンドイッチ	071	作業用品	120	医療費	171	湿布薬	172	関節痛・筋肉痛			
	022	弁当類	072	梱包用品	121	治療費	172	関節痛・筋肉痛	173	目薬			
	服飾	023	衣料品	073	木材	122	診療	122	診療	173	目薬		
024		衣類	074	金物	123	診察料	123	診察料	174	防虫剤			
025		紳士服	075	部品	124	検査料	124	検査料	174	防虫剤			
026		婦人服	076	工具	125	診断書	125	診断書	175	殺虫剤			
027		子供服	077	塗料	126	国保	126	国保	175	殺虫剤			
028		ベビー服	078	タバコ	127	社保	127	社保	176	進物			
029		装飾品	079	パラエティ	128	社保本人	128	社保本人	177	土産品			
030		靴	080	コンタクト	129	社保家族	129	社保家族	178	注文品			
031		帽子	081	メガネ	130	自費診療	130	自費診療	179	限定品			
032		バッグ	082	時計	131	自費診療消費税	131	自費診療消費税	180	特価品			
033		傘	083	写真	132	保険診療	132	保険診療	181	セール			
雑貨	034	雑貨	084	お食事	133	保険外	133	保険外	182	商品券			
	035	輸入雑貨	085	お飲み物	134	保険給付内	134	保険給付内	183	カード			
	036	小物	086	お酒	135	保険給付外	135	保険給付外	184	プライベートカード			
	037	生花	087	喫茶	136	予防接種	136	予防接種	185	受講料			
	038	箱代	088	テイクアウト	137	保険調剤	137	保険調剤	186	相談料			
書籍・文具・CD	039	家電製品	089	モーニング	138	薬代	138	薬代	187	手数料			
	040	情報機器	090	ランチ	139	歯ブラシ	139	歯ブラシ	188	送料			
	041	消耗品	091	ディナー	140	ヘアケア用品	140	ヘアケア用品	189	サービス料			
	042	LED/電球/蛍光灯	092	フード	141	ベビー用品	141	ベビー用品	190	レンタル料			
	043	電池	093	アルコール	142	介護用品	142	介護用品	191	登録料			
	044	書籍	094	ドリンク	143	コタケタケ用品	143	コタケタケ用品	192	設置料			
	045	雑誌	095	ソフトドリンク	144	生薬	144	生薬	193	電話代			
	046	コミック	096	コーヒー	145	薬剤	145	薬剤	194	委託			
	047	新聞	097	トーホースト	146	医薬品	146	医薬品	195	一般			
	048	事務用品	098	ケーキ	147	容器代	147	容器代	196	工事			
	049	文具	099	セットのお飲み物	148	医療用品	148	医療用品	197	修理			
	050	CD			149	衛生用品	149	衛生用品	198	クリーニング			
				150	化粧品	150	化粧品	199	お直し				
								200	DPE				

グラフィック店名ロゴ作成ご依頼について

レシートに印字する店名ロゴは、標準の店名ロゴをお使いいただけますが、作成を依頼される場合は、次ページの依頼書にご記入の上、「きりとりせん」で切り離し、依頼書に記載の送付先へFAXもしくは郵送にてお申し込みください。（ご使用のFAXでA5用紙を送信することができない場合は、依頼書をB5用紙やA4用紙にコピーして送信していただくようお願いします。）

（依頼書送付先と連絡先について）

送付先および連絡先は都合により変更となる場合があります。最新の送付先および連絡先は、当社ホームページ (https://jp.sharp/support/ecr/info_logo_order.html) でご確認ください。

納期は、ご依頼後約3週間です。作成したロゴデータはSDメモリーカードに入れてお届けします。

<ご参考例> 店名：角ジツク その他：明朝



【お願い】

1. 店名ロゴ作成依頼書の①から⑤まで漏れないようにご記入の上、FAXまたは郵送にてご依頼ください。なお、FAX通信料および郵送料など、お申し込みに必要な費用はお客様負担(有償)となります。
2. 店名ロゴ作成依頼書に関するお問い合わせは、下記連絡先をお願いします。
(TEL:06-7732-1938 [月曜～金曜 午前10時～午後4時30分、土・日、祝日など弊社休日を除く。])
なお、連絡先は都合により変更となる場合があります。最新の連絡先は、当社ホームページ (https://jp.sharp/support/ecr/info_logo_order.html) でご確認ください。
3. ご発注後の変更やキャンセルは承れませんので、お間違いのないようにご記入の上、ご発注ください。
4. お支払方法は「代金引換」のみとなっております。代金引換業者が店名ロゴデータを入れたSDメモリーカードをお届けした際に、作成料金をお支払いください。作成料金については、当社ホームページ (https://jp.sharp/support/ecr/info_logo_order.html) でご確認ください。
5. レジスタへ店名ロゴデータを入れる方法につきましては、お届けするSDメモリーカードに添付の「店名ロゴ設定マニュアル」をお読みください。
6. 年末年始やゴールデンウィークなどは混み合ってお届けが遅れることが予想されます。あらかじめ日数に余裕を持ってお申し込みください。
7. お送りいただいた依頼書は返却いたしません。ご了承ください。

※領収証ロゴについて

1. 店名ロゴは、領収証ロゴとしてもご使用いただけます。その際は「印字形式の設定(3)」(※20ページ)で「領収証発行時の領収証ロゴ印字」を「店名ロゴを使う」に設定してください。
2. 店名ロゴとは別のデザインで領収証ロゴを作成依頼される場合は、別々の作成依頼書が必要となります。次ページの作成依頼書をもう1枚コピーして、①の「領収証ロゴ」に○を記入し、領収証ロゴの作成依頼書をご用意ください。
なお、店名ロゴと領収証ロゴの両方を作成依頼される場合は、合計2件分の作成料金が必要となります。

（個人情報の取り扱いについて） 作成依頼書にご記入いただきましたお名前、ご住所などの個人情報は店名ロゴのお申し込みの為にのみ使用するものであり、その他の理由で使用することはありません。

(ご注意) 本書の送付先は都合により変更となる場合があります。最新の送付先は、当社ホームページ (https://jp.sharp/support/ecr/info_logo_order.html) でご確認ください。

(送信先) 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号
シャープマーケティングジャパン株式会社
ビジネスソリューション社 CRC
電子レジスタ店名ロゴ受付担当 宛

FAX.06(6794)9687

シャープ電子レジスタ

XE-A147

グラフィック店名ロゴ作成依頼書〔有償〕(SDメモリーカード)



[ご発注日] 年 月 日

※作成は有償です。作成料金については、当社ホームページ(右記URLまたは下記QRコード)でご確認ください。(https://jp.sharp/support/ecr/info_logo_order.html)

① いずれかに○を記入してください。 [作成料金について] ③ 原稿

<input type="checkbox"/>	店名ロゴ(レシート用) 実寸:縦16.3mm 横48mm
<input type="checkbox"/>	領収証ロゴ(領収証用) 実寸:縦21mm 横48mm



- ※領収証ロゴに店名ロゴと同じデザインを使用する場合、店名ロゴ(レシート用)だけに○をしてください。(領収証ロゴ(領収証用)には○をしないうでください。)
- ※指定なき場合は店名ロゴ(レシート用)として作成いたします。

② 書体 丸ゴシック・角ゴシック・楷書・明朝

- ※指定の書体を○で囲んでください。
- ※指定なき場合は写植(角ゴシック体)にて作成いたします。
- ※文字の大きさ、書体等、各項目に指定のある場合は通信欄にご記入ください。

③ 原稿

- [お願い]
- 黒のボールペンで大きくご記入ください。
- 指定書体・マークはハッキリした正確な見本を添えてください。(イラストやマークのデザイン考案はお受けできません。)
- ※店名ロゴに黒色部分が多いときは、印刷密度の制限のため、原稿どおりに作成できませんので、デザインの変更をお願いする場合があります。
- ※QRコードは印刷できません。
- ※デザイン(銘柄)によっては、印刷時に多少の印字ムラが発生する可能性があります。ご了承ください。

原稿

通信欄 …指定マーク、指定書体は、この枠内に添付してください。

④ ご依頼元

(内容に関してお問い合わせする場合があります。)

ご住所 〒

貴社名/貴店名

ご担当者

電話番号

受付確認連絡用

FAX番号 または メールアドレス <どちらか一方:必須>

⑤ SDメモリーカード送付先

(ご依頼元の住所と異なる場合にご記入ください。)

ご住所 〒

貴社名/貴店名

ご担当者

電話番号

※弊社から電話連絡の後、仕上がりイメージをFAXまたはメールいたします。

アフターサービスについて

保証について

- このレジスタには、保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

- 「故障かなと思ったら」(※35ページ)の項目をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
- それでも異常があるときは、使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご連絡のうえ、修理をお申し付けください。お申し出により出張修理いたします。

品名：電子レジスタ
 形名：XE-A147
 故障の状態(できるだけ詳しく)

ご自分で修理はしないでください。たいへん危険です。

- アフターサービスについてわからないことはお買い上げの販売店またはレジスタご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品について

当社は、この電子レジスタの補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後、7年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

別売品について

このレジスタには別売品として、オプションバッテリー(XE-A1BT)が用意されています。オプションバッテリーを取り付けるとACアダプターなしで動作することができます。ただし、充電時はACアダプターが必要です。ご購入の際は、お買い上げいただいた販売店にお申し付けください。(オプションバッテリーの取り付けかたや使用方法については、オプションバッテリー同梱の取付説明書または取扱説明書をごらんください。)

グラフィック店名ロゴ作成ご依頼要領

グラフィック店名ロゴの作成を依頼される場合は、「グラフィック店名ロゴ作成ご依頼について」(※37ページ)をよくお読みのうえ、「グラフィック店名ロゴ作成依頼書」(※38ページ)にてお申し込みください。

- 納期は、ご依頼後約3週間です。店名ロゴ作成依頼書に関するお問い合わせは、下記連絡先をお願いします。(TEL:06-7732-1938 [月曜～金曜 午前10時～午後4時30分、土・日、祝日など弊社休日を除く。])なお、連絡先は都合により変更となる場合があります。最新の連絡先は、当社ホームページ(https://jp.sharp/support/ecr/info_logo_order.html)でご確認ください。
- 作成したロゴデータはSDメモリーカードに入れてお届けします。お支払方法は「代金引換」のみとなっております。代金引換業者が店名ロゴデータを入れたSDメモリーカードをお届けした際に、作成料金をお支払いください。作成料金については、当社ホームページ(https://jp.sharp/support/ecr/info_logo_order.html)でご確認ください。
- お送りいただいた依頼書は返却いたしません。ご了承ください。

仕様

形名	XE-A147
外形寸法	(幅)335mm×(奥行)360mm×(高さ)190mm
質量	4.0kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1.4W(待機時)、9.2W(動作時)
使用環境	気温：0℃～40℃、相対湿度：20～90%
表示部	LED オペレータ側：8桁
プリンタ部	1ステーション感熱ラインドット方式 [印字速度：約10行/秒、印字桁数：30桁]
ロール紙	幅：57.5±0.5mm、外径：最大80mm、紙質：上質感熱紙
時計誤差	月差±180秒(25℃において)
メモリ保持電池	単3形アルカリ乾電池 3本(市販品：付属していません。)
引出し金種	9種類(紙幣用3、硬貨用6)
付属品	ACアダプター(1個)、機能切りかえ鍵(引出し鍵と共用)(2個)、ロール紙保持ガイド(1個)、巻取軸(1個)、ロール紙[小](1個)、取扱説明書(保証書付)(1部)*、クイックスタートガイド(1部)*

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
 This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
 仕様は改善のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かなと思ったら」をご確認ください。



よくあるご質問など
【シャープサポートページ】

<https://jp.sharp/support/ecr/>



使用方法のご相談など
【レジスタ相談窓口】



0570 - 002 - 023

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～18:00
(日曜・祝日および年末年始を除く)



修理のご相談など
【カスタマーセンター】(沖縄地区を除く)
沖縄地区は「ご相談窓口のご案内」をごらんください。



0570 - 005 - 008

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～17:40
(日曜・祝日および年末年始を除く)

シャープ株式会社

本社
スマートビジネスソリューション事業本部

社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地



生産管理用バーコード

Printed in Thailand
22C TINSJ2658BSZ5 ⑨